

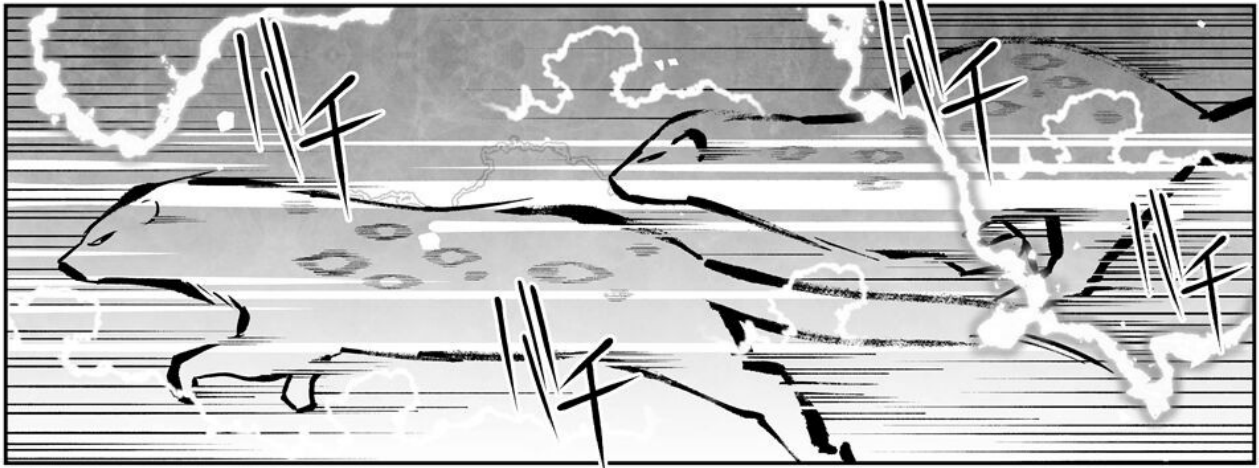


雷鳴  
残雪



THUNDER  
AND  
SNOW





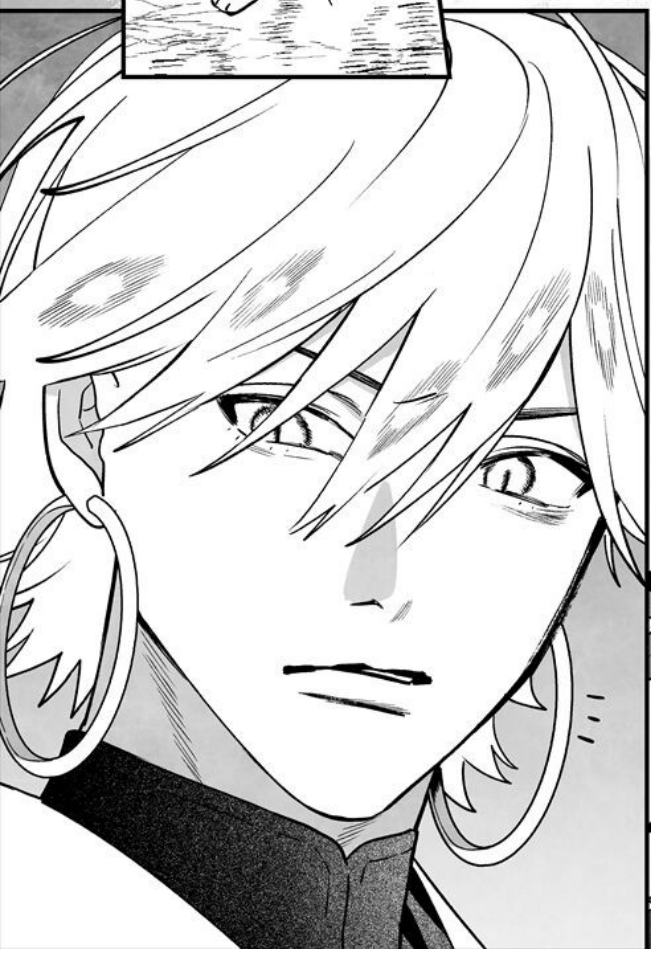


滅びろ人間ども

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん







なんだ!?  
体が重いっ…

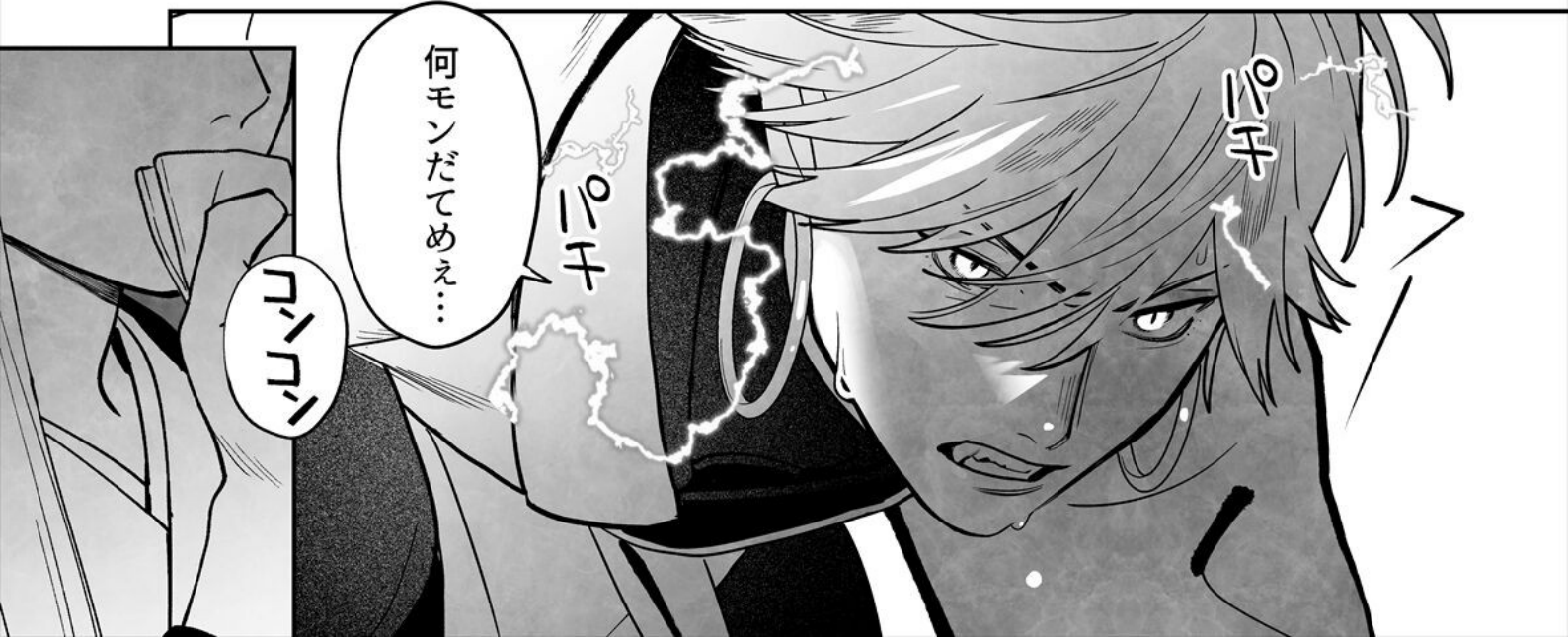
立ち上がれねえ…!

ぐっ…!



雪乃さん!  
ありがとうございます  
ございます

よかった  
助かった…



何モンだてめえ…

フンフン

オハ

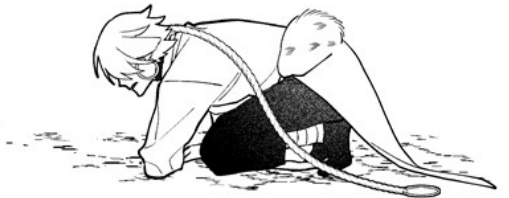
ハキ



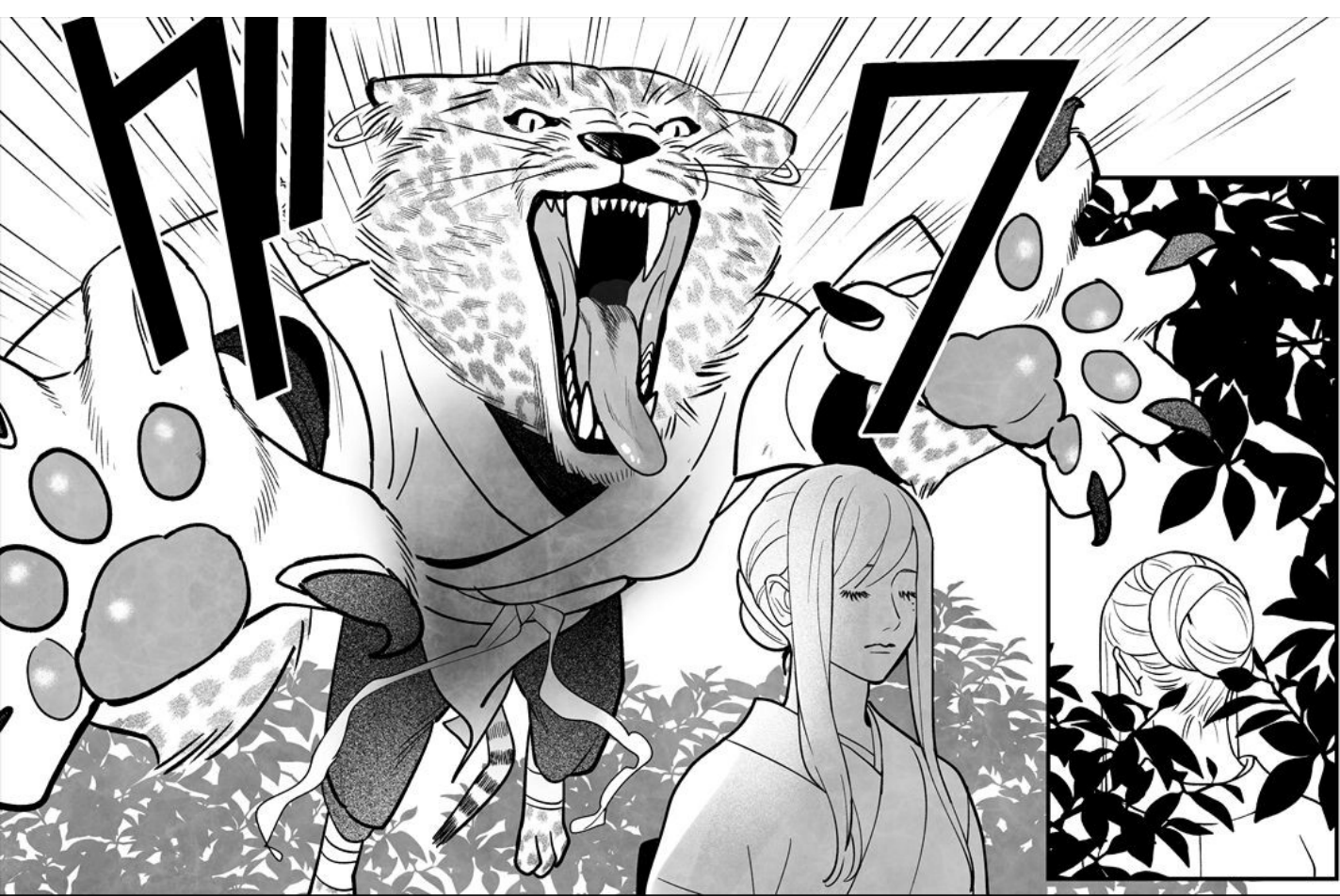
許して欲しいか  
ものの怪



これが  
この女との  
出会いだった



ガサッ



またお前か



こりない奴だ

俺達と  
同じような技を使う  
バカ強い女

ただの人間の  
くせして

俺は奴に触れる  
ことすら出来ない

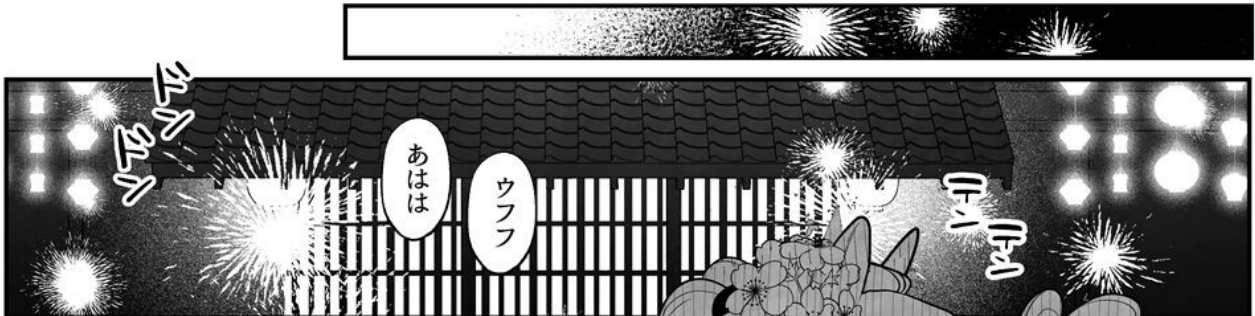
コンコン

突っ込んでくる  
だけで芸の無い奴



でも  
腰かけとしては  
優秀かもな

俺を見逃したこと  
後悔させてやる

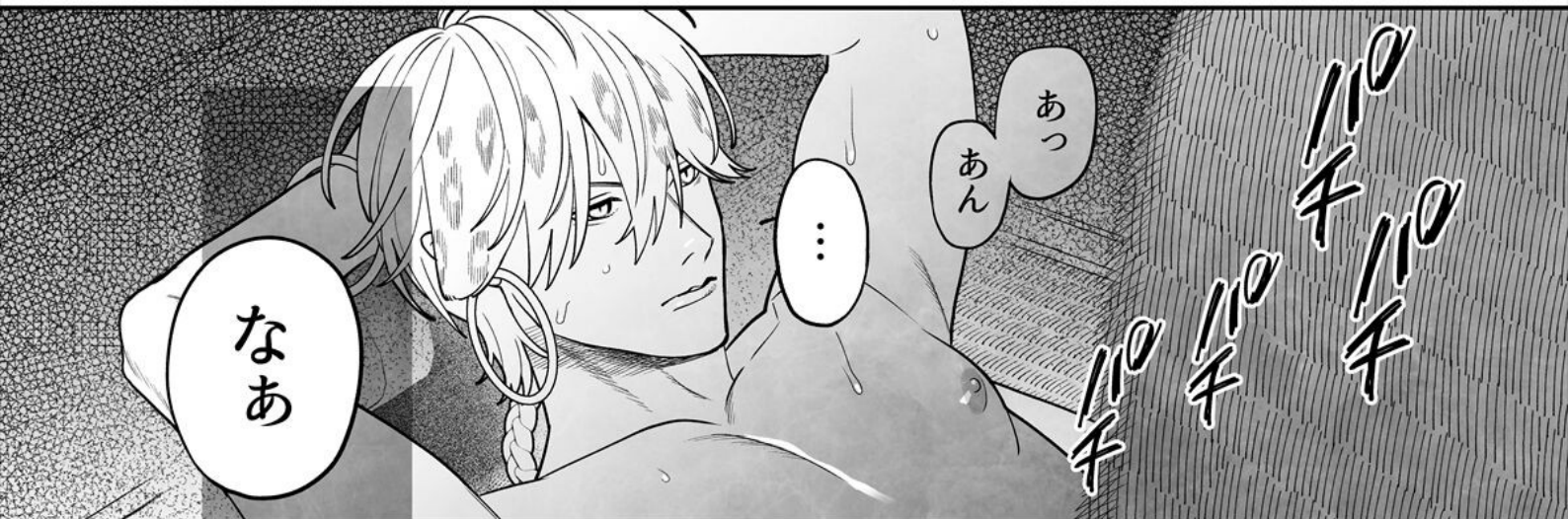


それで、  
この前化かした  
人間の男がー

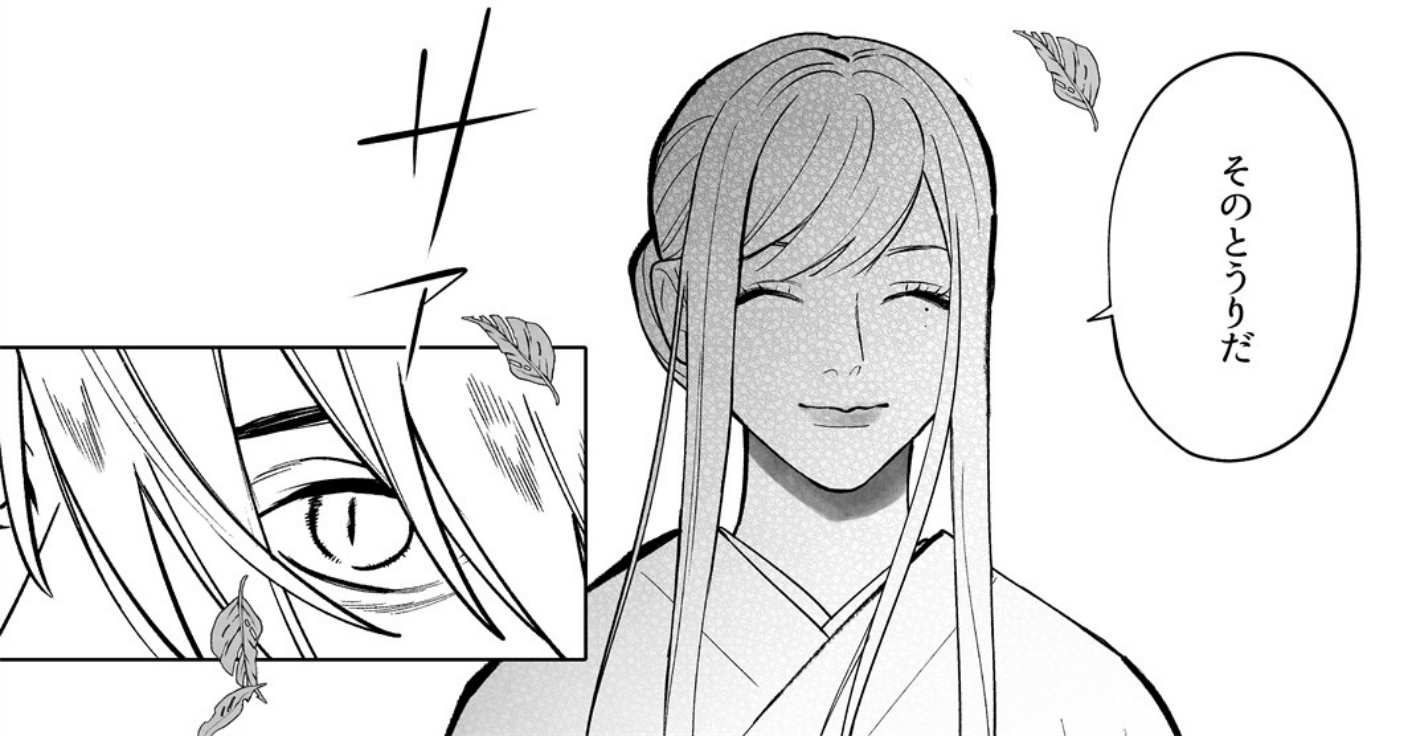
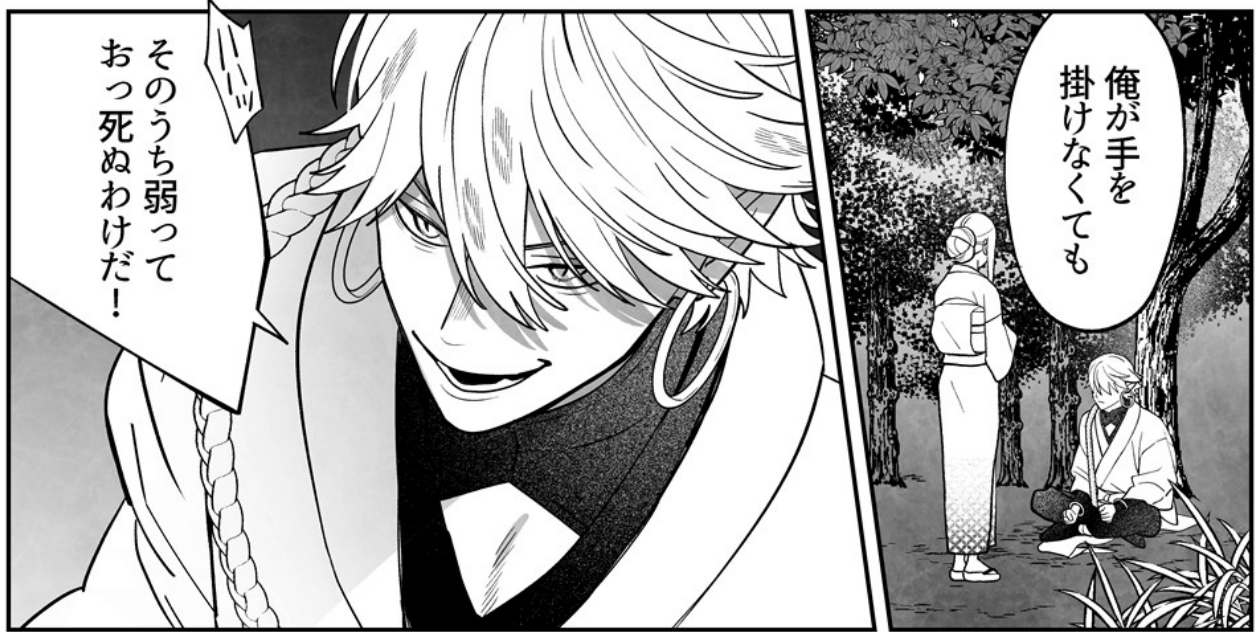
もうほんま  
おもしろくて

ふうん











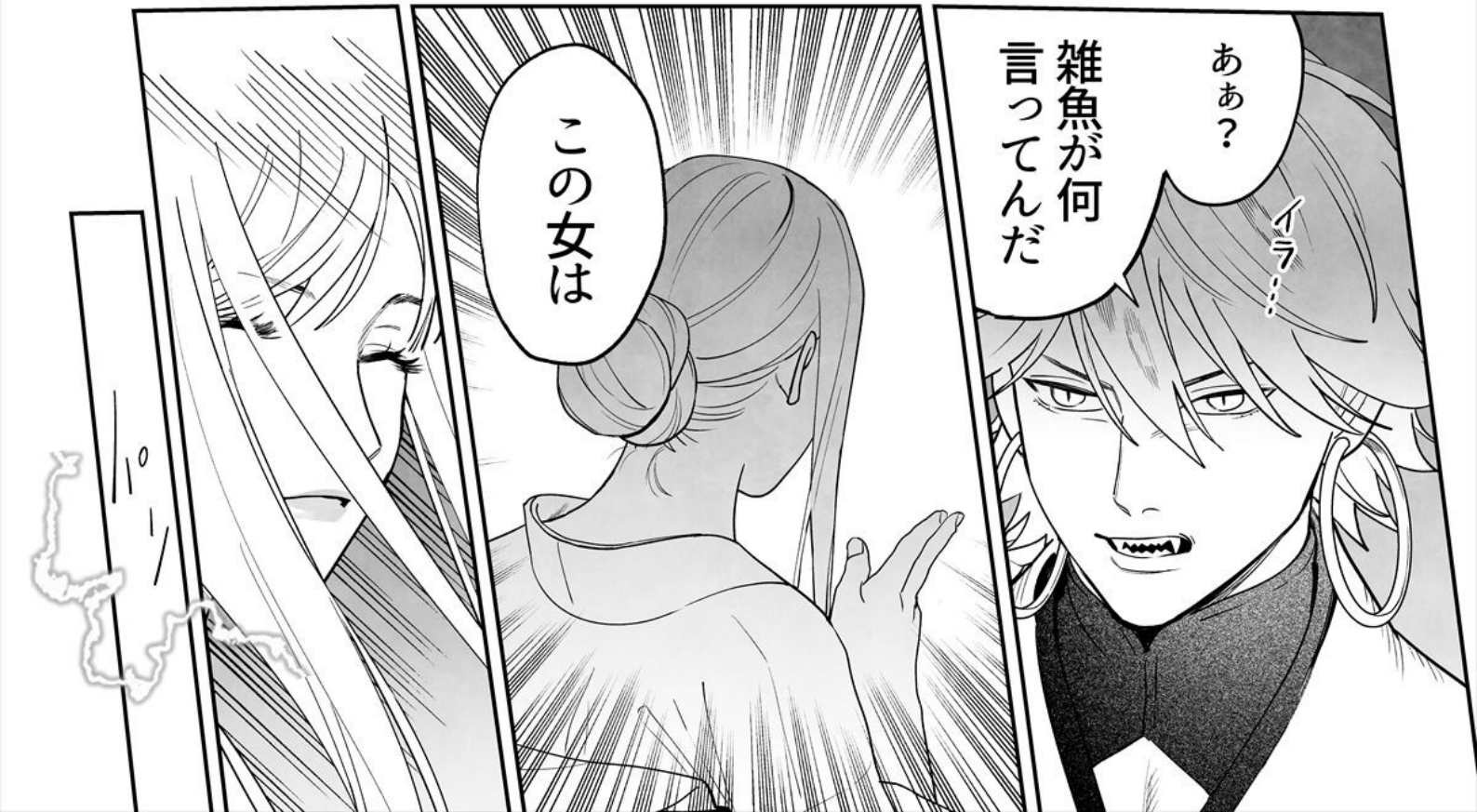
強イ  
チカラ…

女…私ノ  
一部トナレ…



こいつは  
仲間か？

しらねーよ



この女は

ああ？  
イラ…  
雑魚が何  
言ってるんだ







アアアアア

春になっても  
溶けずに残った日陰の  
雪みたいな女だと思った…





おい

おきり



ここは  
どこだろう…

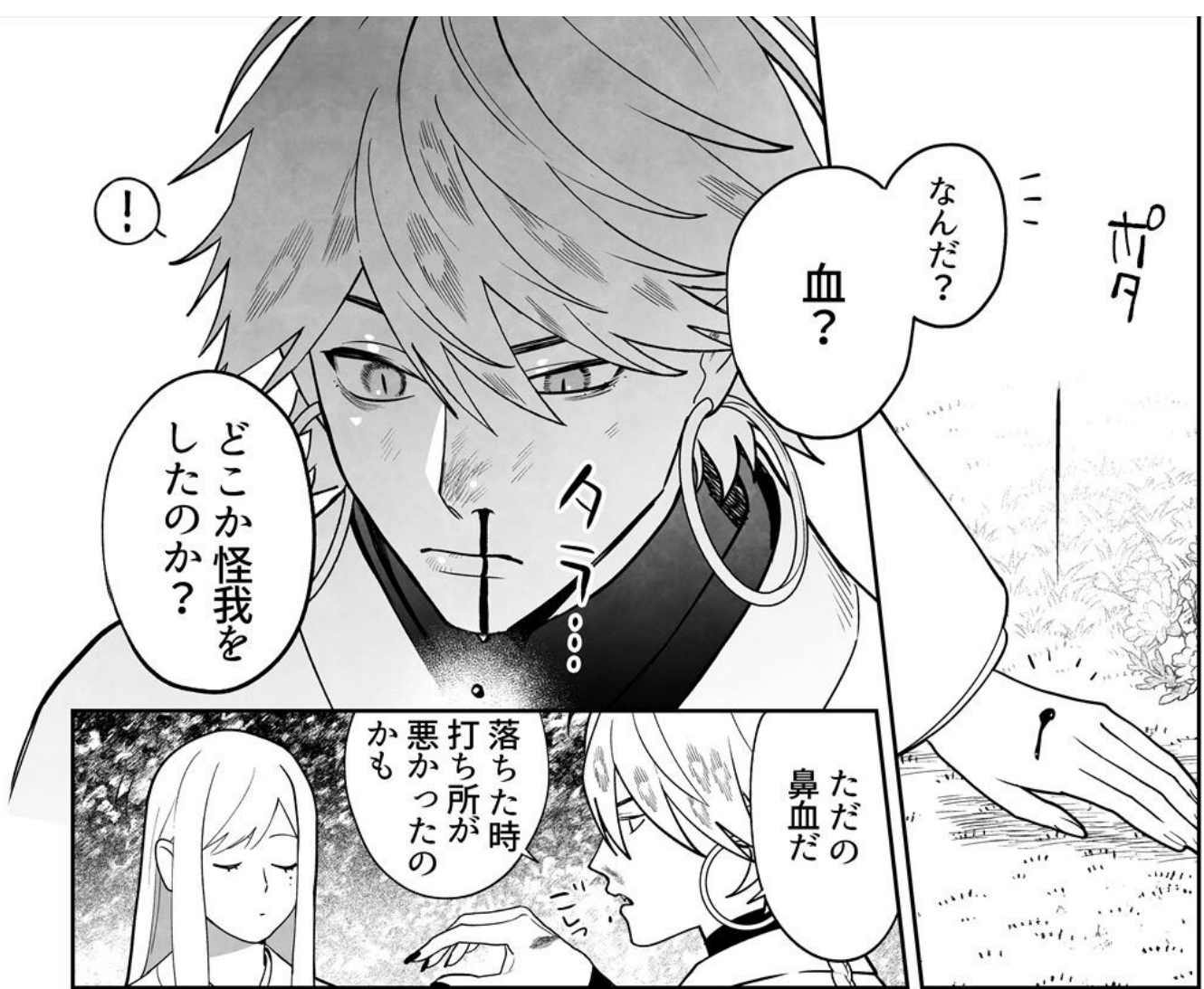
森だ

…だろうな…



わ!!

はあ  
重かった



つかってない

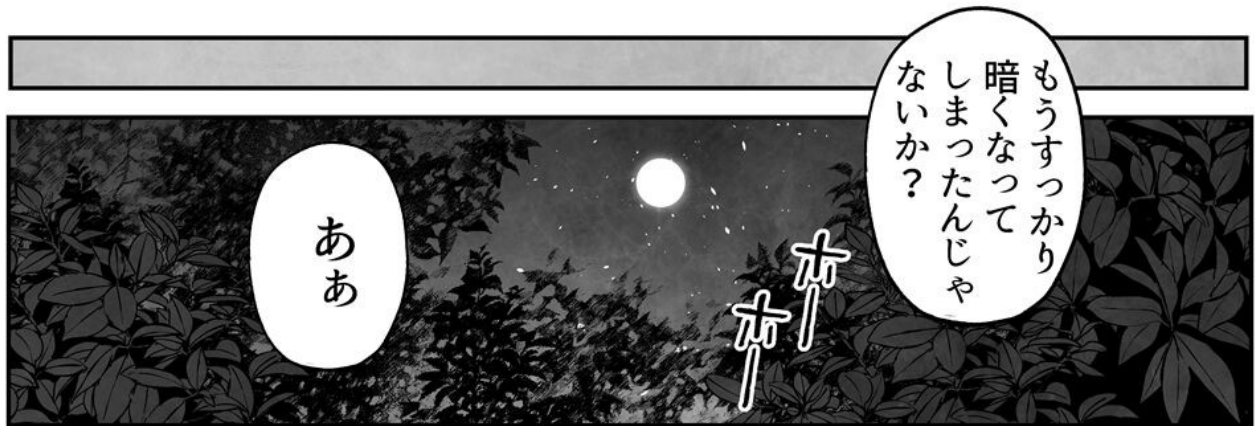


ものの怪とは言え  
助けてくれた  
相手だしな

一時休戦の  
しるしだよ

オオ  
助けた訳じゃねえ！  
お前は俺の手で  
始末して…

さて 早く  
村へ戻らなければ  
スタスタ



もうすっかり  
暗くなつて  
しまったんじゃ  
ないか？

ああ

ホ  
ホ



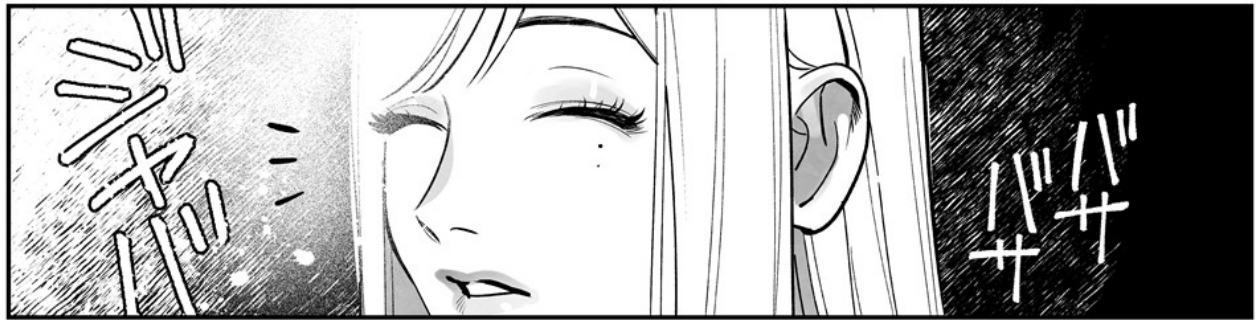
立ち止まって  
どうした？

硫黄の臭いだ

暖かい…  
温泉だ

フヤッ

ホ  
ホ



暖かくて  
気持ちいいな…

ふう…

なあ

お前  
名前はあるか？

は？

突然なんだ

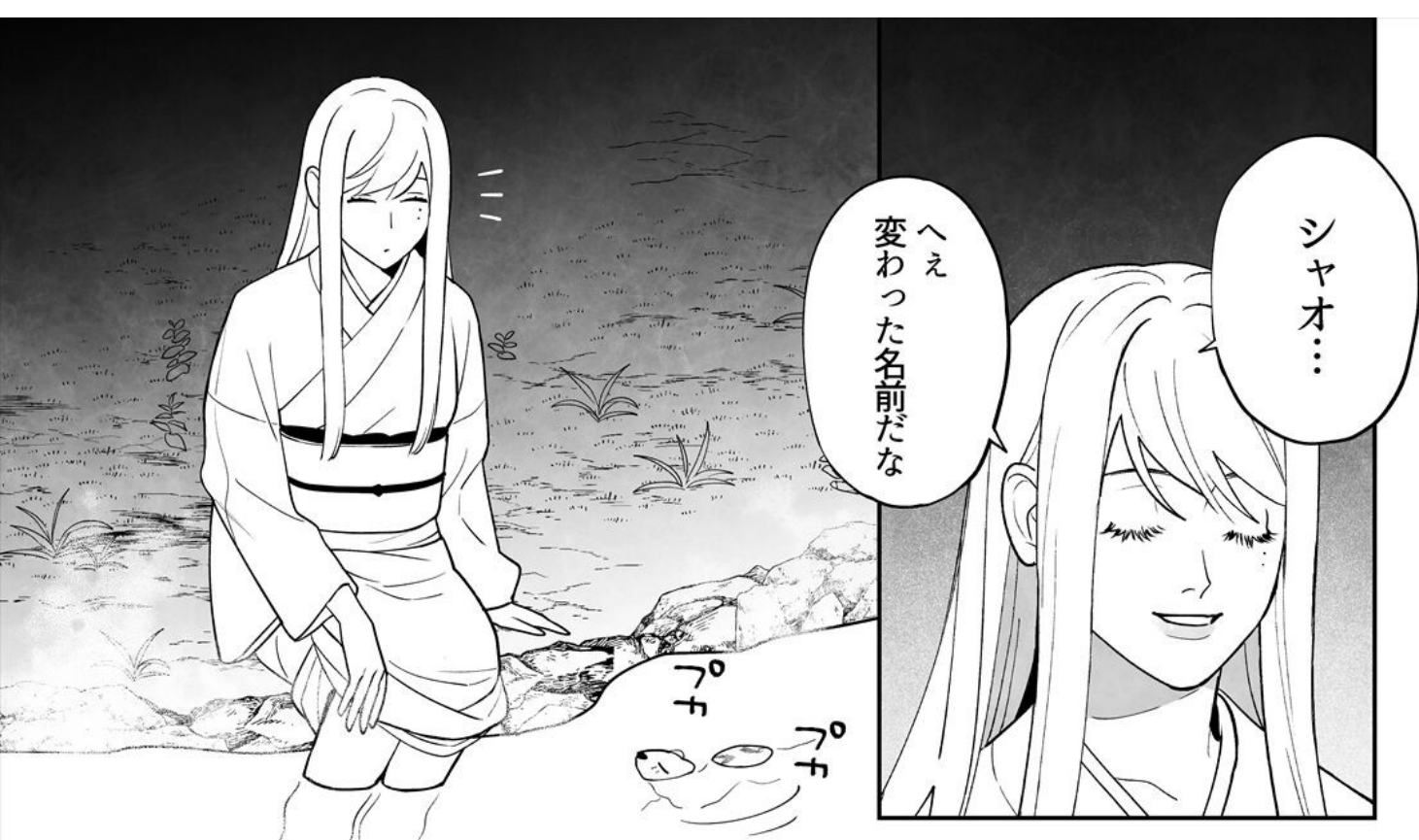
名前だよ  
あるんだろ？

勘違いすんじゃないよ  
お前と馴れ合うつもりは

私は雪乃というんだ

は  
女

…シャオだ



へえ  
変わった名前だな

シャオ...



こいつは？

め

ふか



俺の毛玉から  
生まれた  
ものの怪だ

シャオは  
何のものの怪  
なんだ？

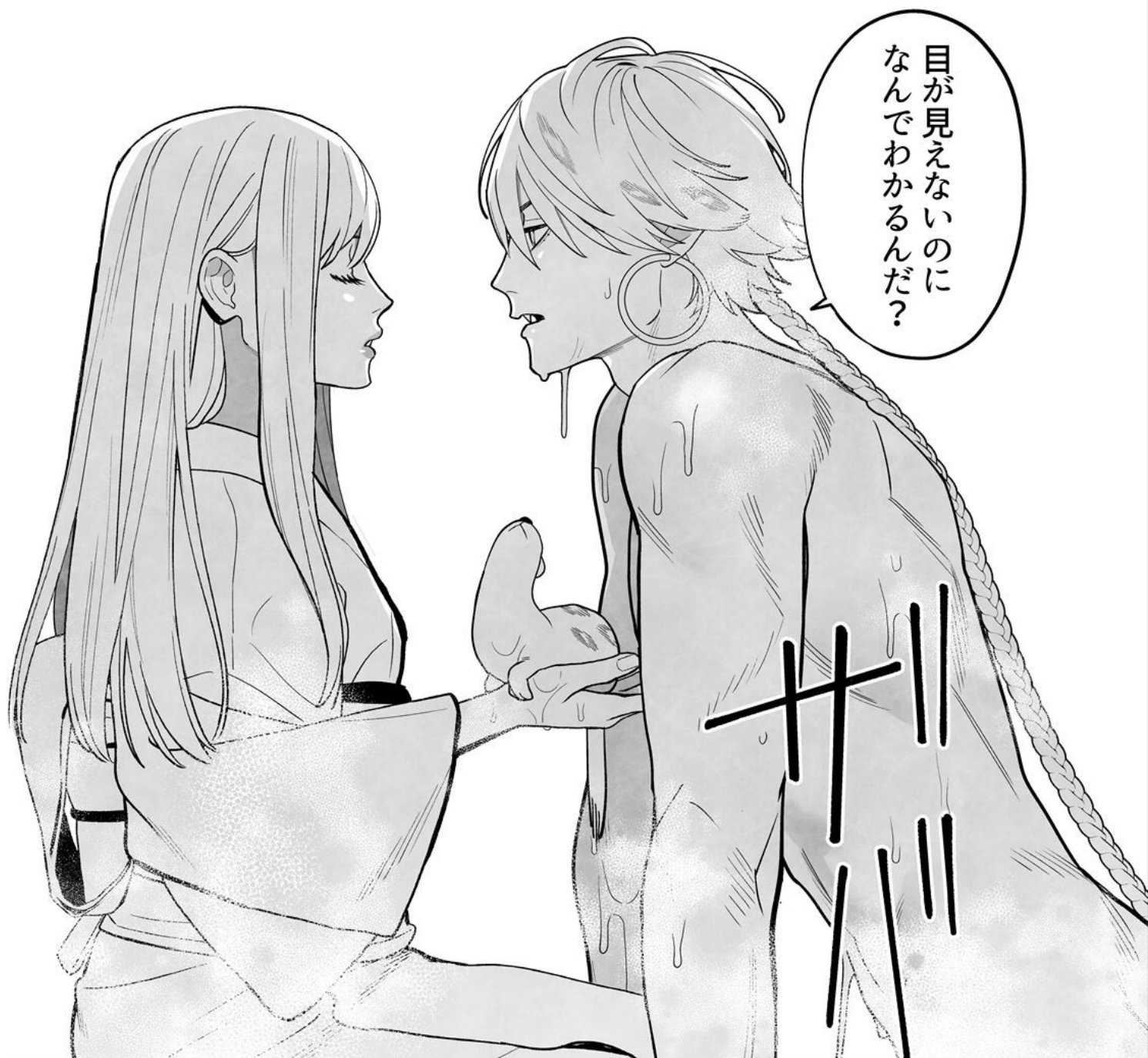
豹だ



豹にはまだ  
会ったことがないな...  
猫の大きい奴だろ？

お前...

ん？



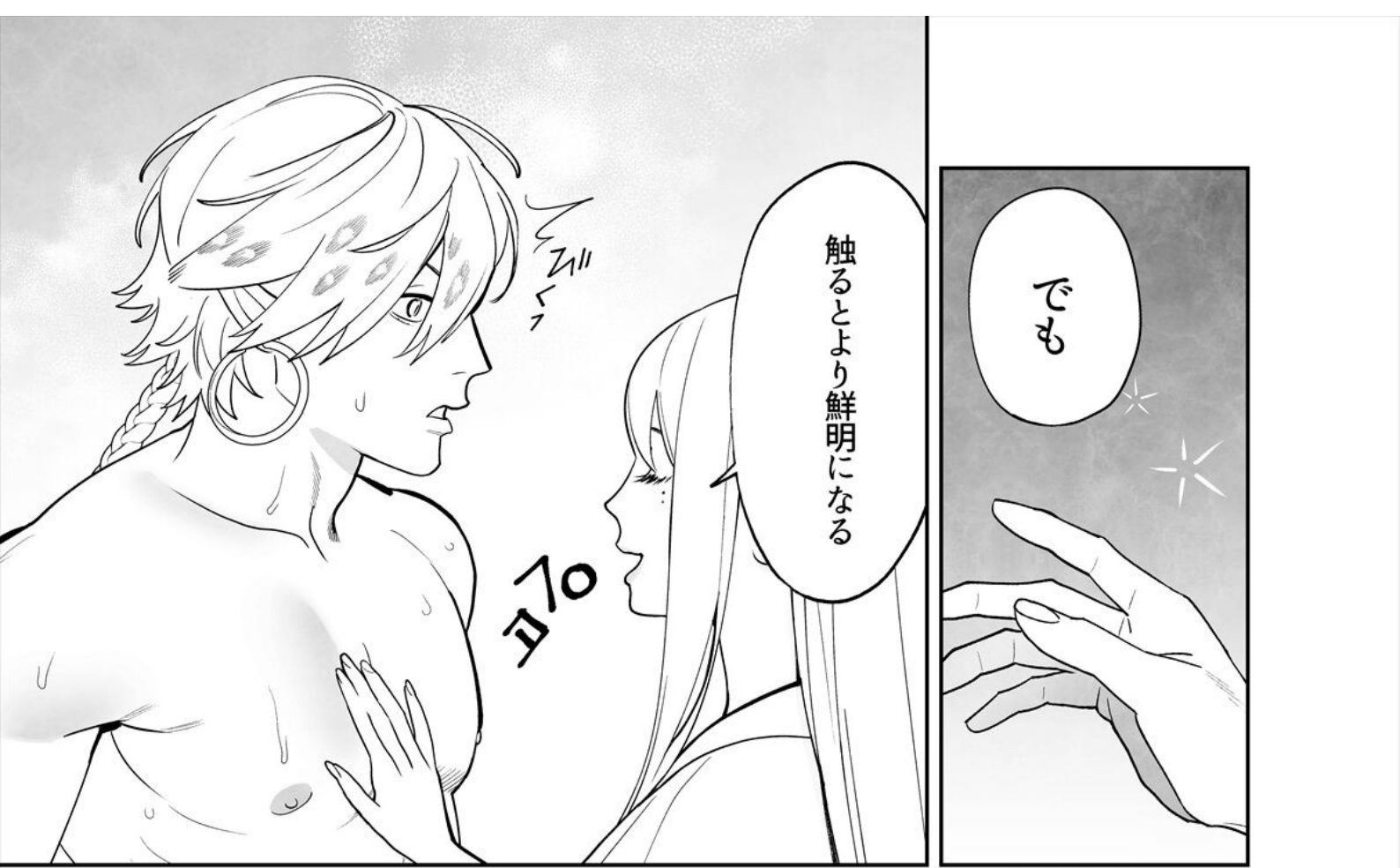
目が見えないのに  
なんでわかるんだ？



おぼろげな  
気配みたいなものだけどね

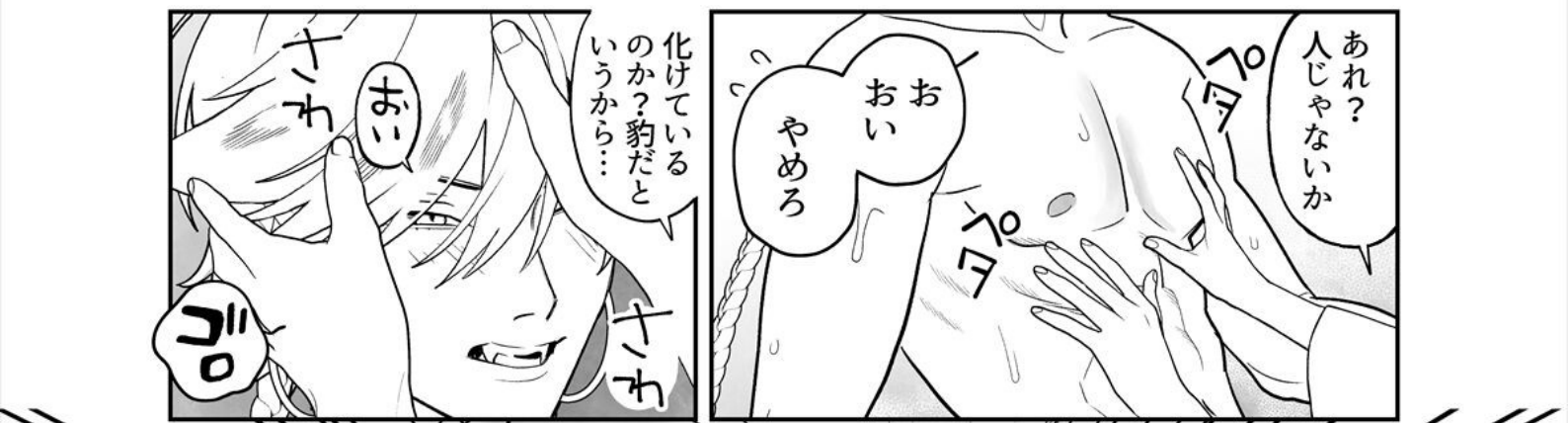


見えてるよ



触るとより鮮明になる

でも



化けているのか？豹だというから…

あれ？人じゃないか

おい やめろ

おーい

やめろ



やめろっ！

やめろ



シヤオ  
そこにいるのか？



…いたら悪いか

最近悪さをしていないくて  
えらいぞ

お前が邪魔を  
してるんだろう  
今は作戦を立ててる  
ところなんだよ

あれから…



女：雪乃から  
目が離せなくなった

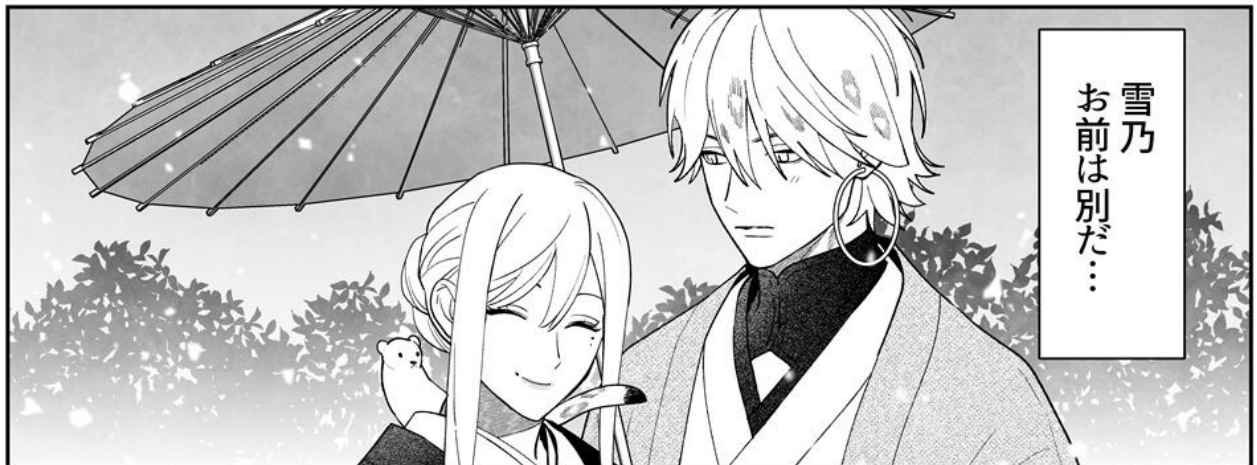


それがどういう  
感情なのかは  
理解している



けれど

人間は嫌いだ

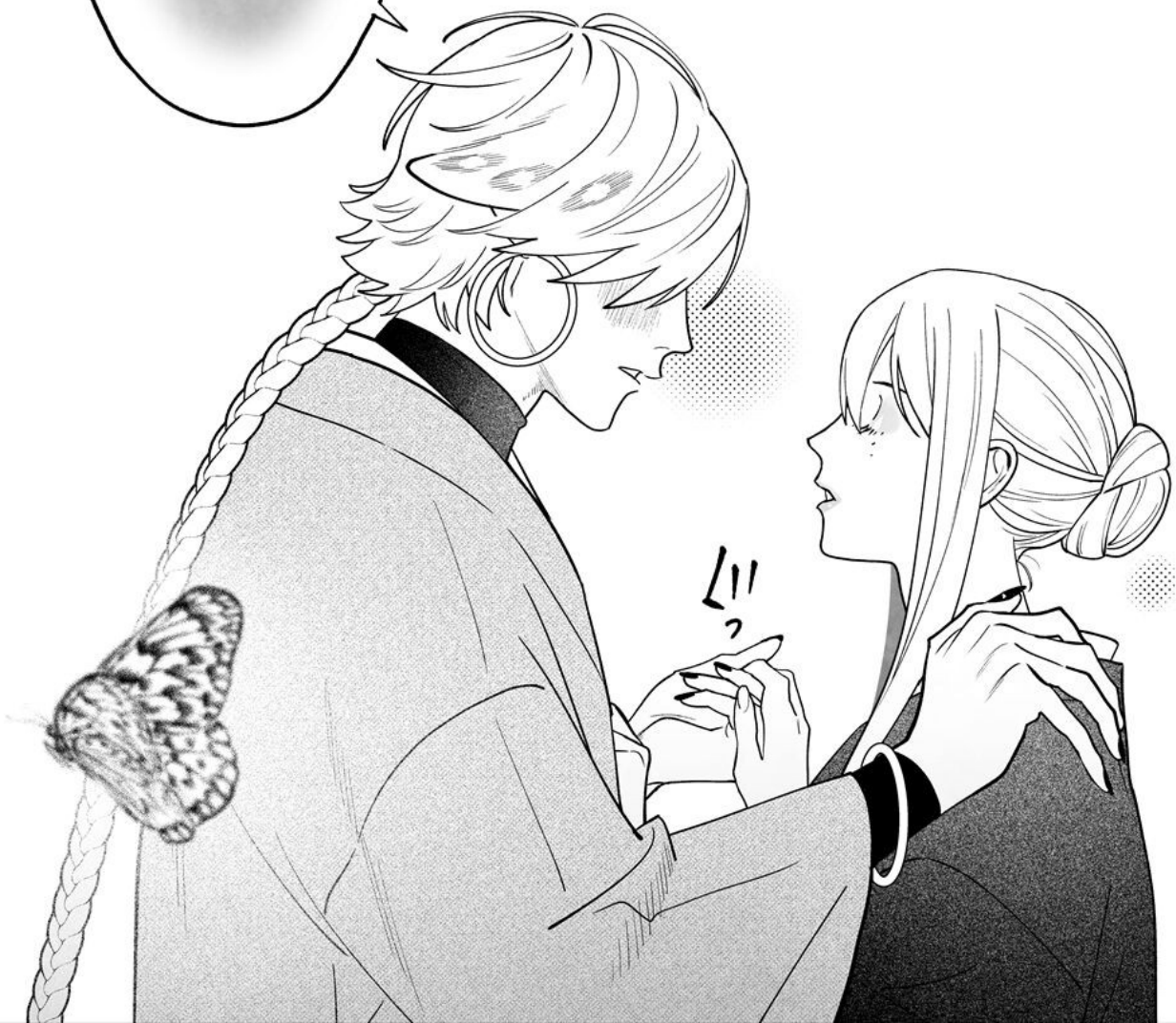
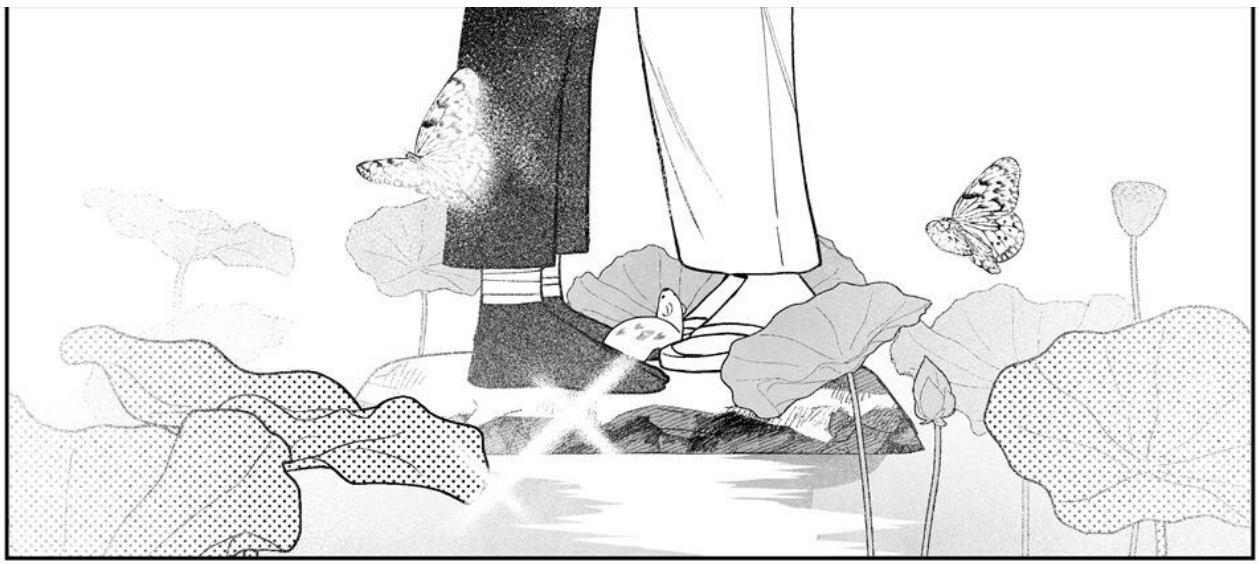


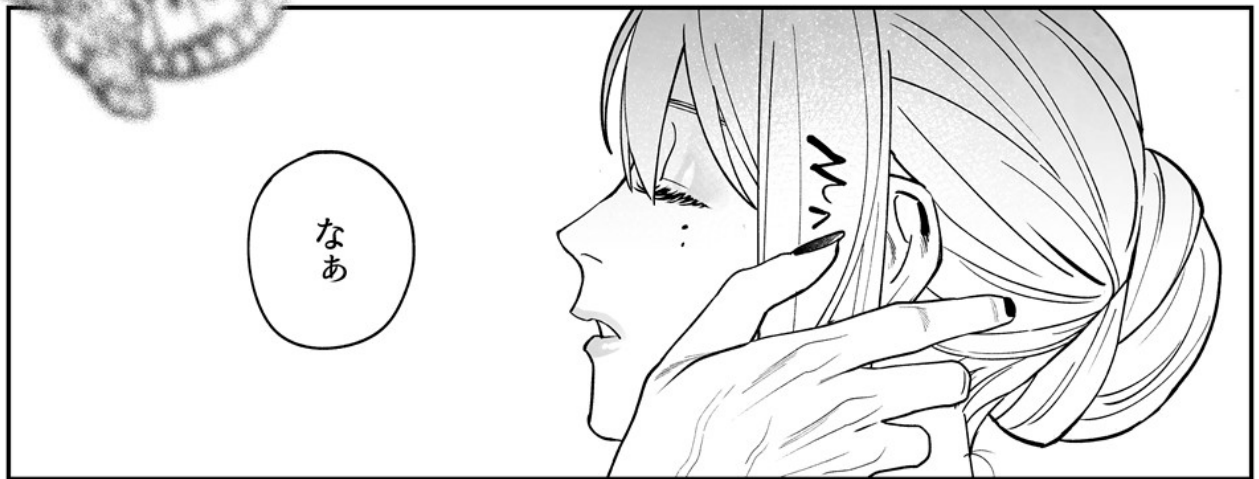
雪乃  
お前は別だ…

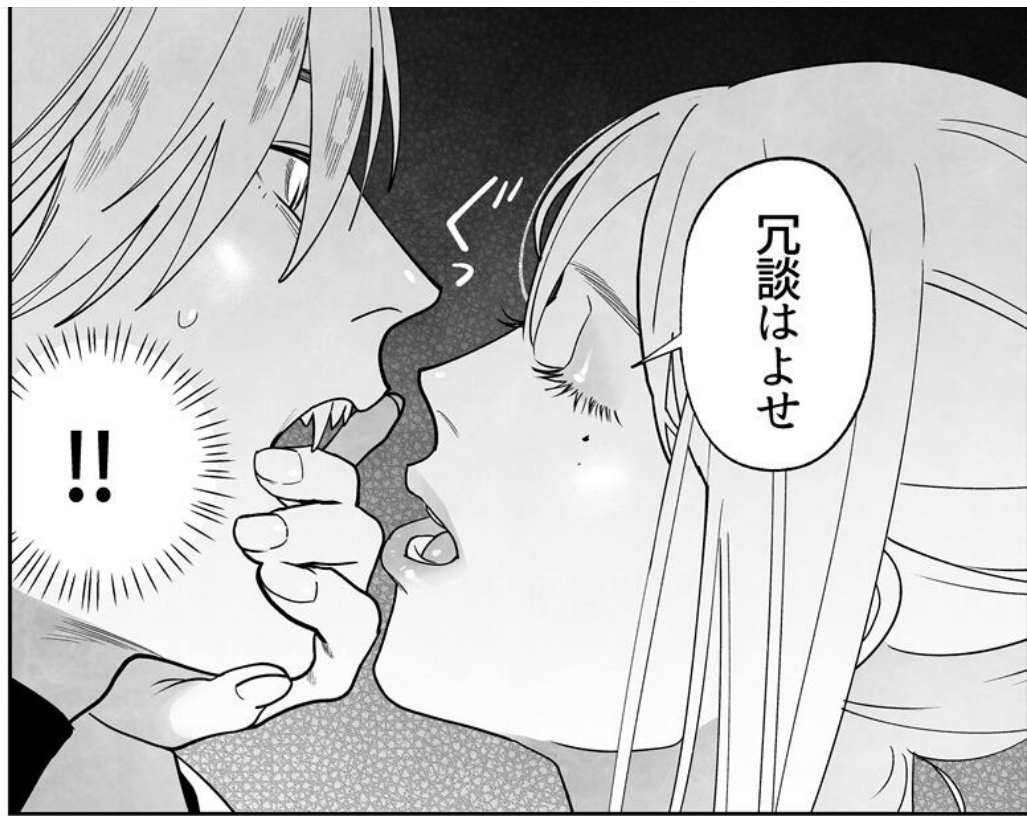
3月下旬











なんで...!?



ごめん



この俺をぶるなんて  
あの女どこまでプライドを  
傷つければ気がすむんだ

カサ



もっと  
瞳を閉めんか!



いいもん  
持つてるな

いい匂いだな  
ありがとう



いやらしく  
吸いついてきおる!

あっ

はっ

あー…  
よい膾壁じゃ

ああっ!  
イツ…

パニッ  
パニッ  
パニッ  
パニッ  
パニッ  
パニッ



そういえば  
雪乃

近頃男と会って  
いるようだな  
ワシには全て筒抜け

はあ

はあ  
はあ

パンッ  
パンッ  
パンッ



滅多なことは  
考えるで無いぞ

そんな!  
奴はただの  
ものの怪です

ああっ

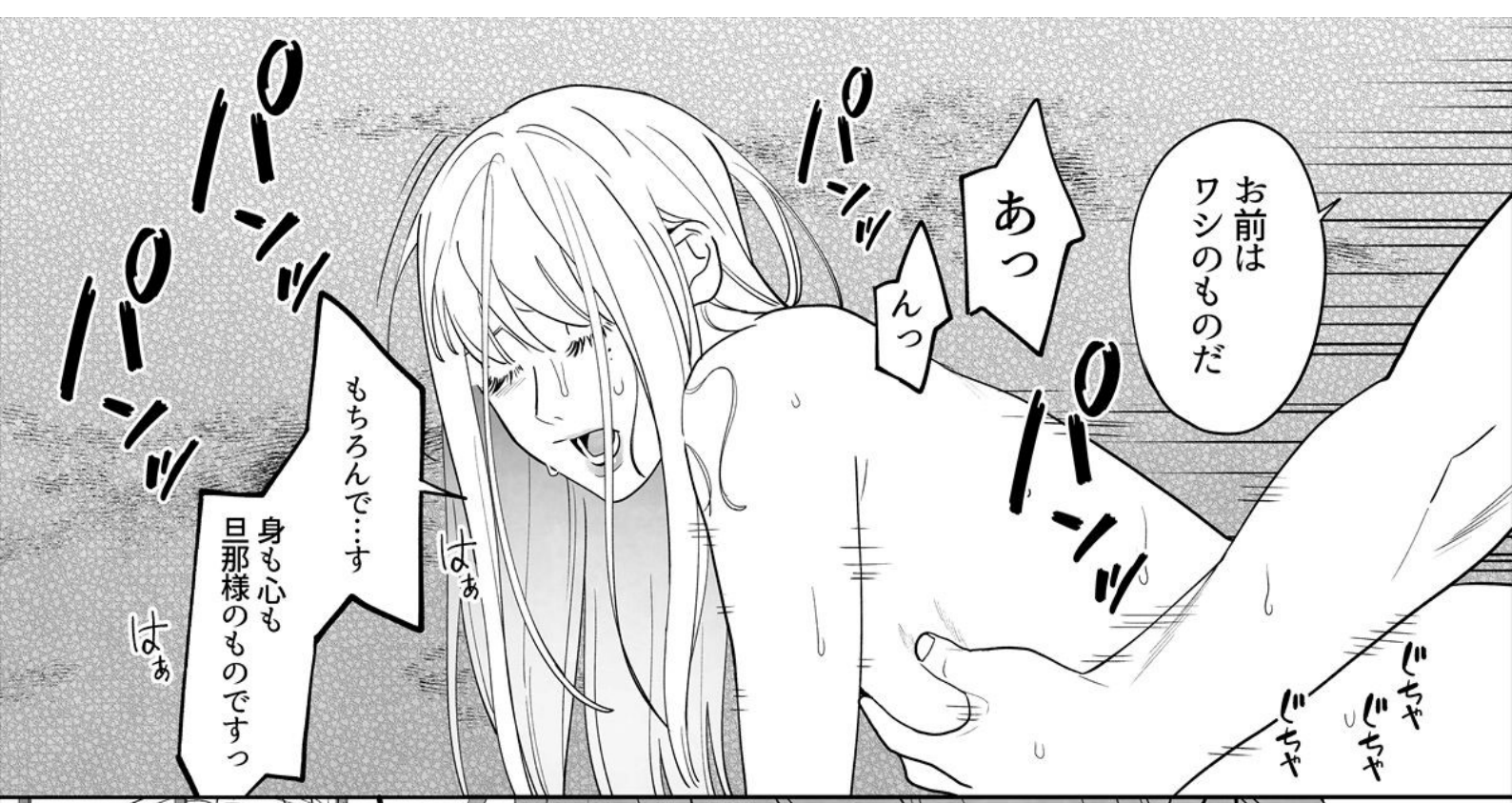
うっ



旦那様の  
邪魔だてを  
しないように  
見張っていた  
だけです…!!

うあっ

!!!



お前は  
ワシのものだ

あっ

んっ

パニッ

パニッ

ミチギ  
ミチギ

もちろんで…す  
身も心も  
旦那様のものですっ

はぁ

はぁ



!



ふっ

パニッ



しっかり体に  
刻み込んでやらんとな!

どうじゃ…!

ここをこねられると  
気持ちえかるう

うっ  
っ

ドクッ

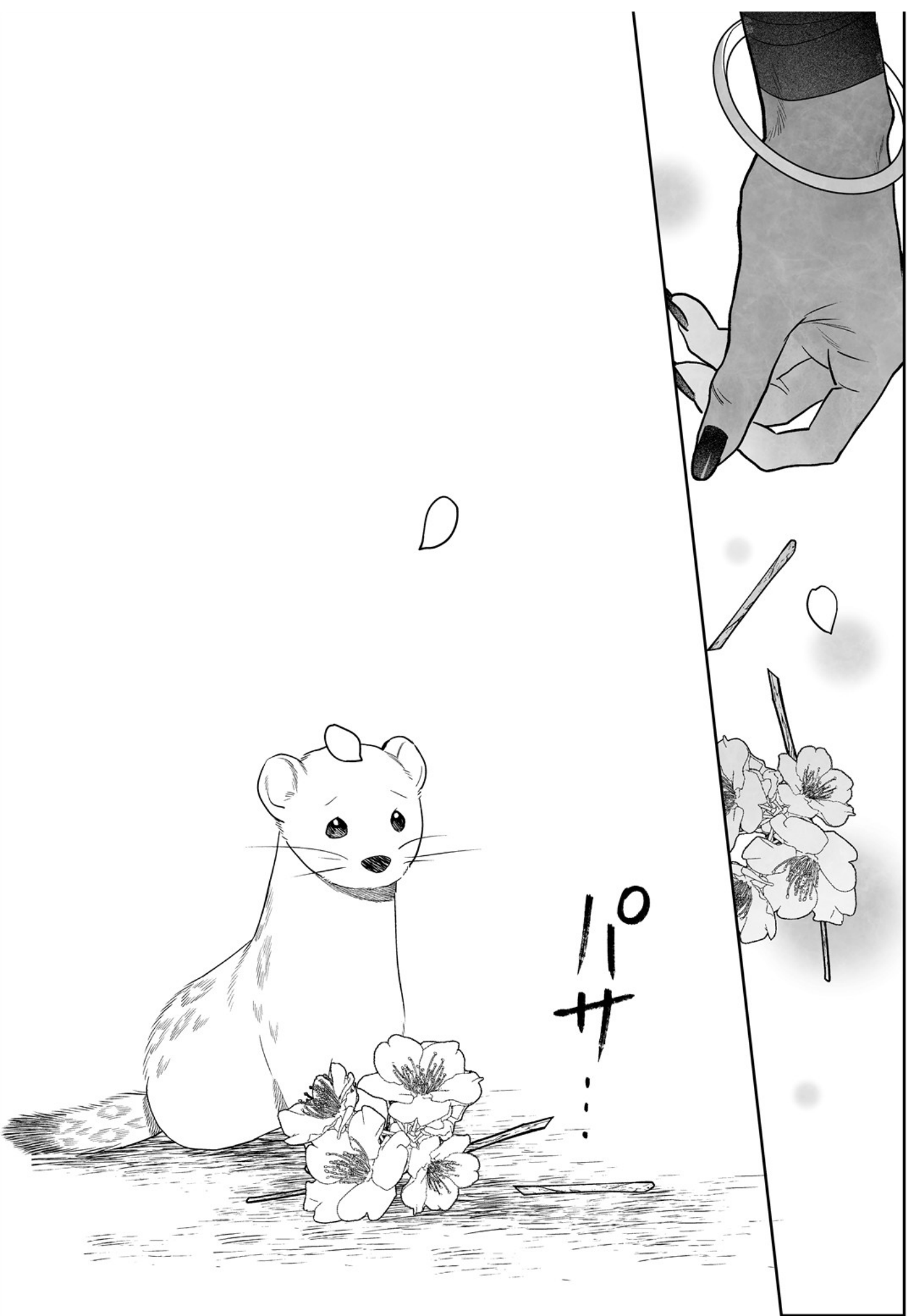
ぐっ!!

ドクッ

ドクッ

ドクッ









そこっ  
もつと突いてえ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

激し  
いっ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ



あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あーあー  
かわいそお

泣  
い  
て  
ま  
ん



この顔の娘に  
フラれたん？

クッ  
クッ



頭ん中勝手に  
見んじやねえよ！

あーっ  
ッ

怖い顔

クッ  
クッ



耳障り  
なんだよ

その顔で  
喋るな狐

アッ  
アッ





シヤオ

おかのう...!!  
うっ!!

うっ!!  
うっ!!



キョーン  
キョーン



...



きつ  
聞いてくれよ!

何をだよ

ハサ  
ハサ

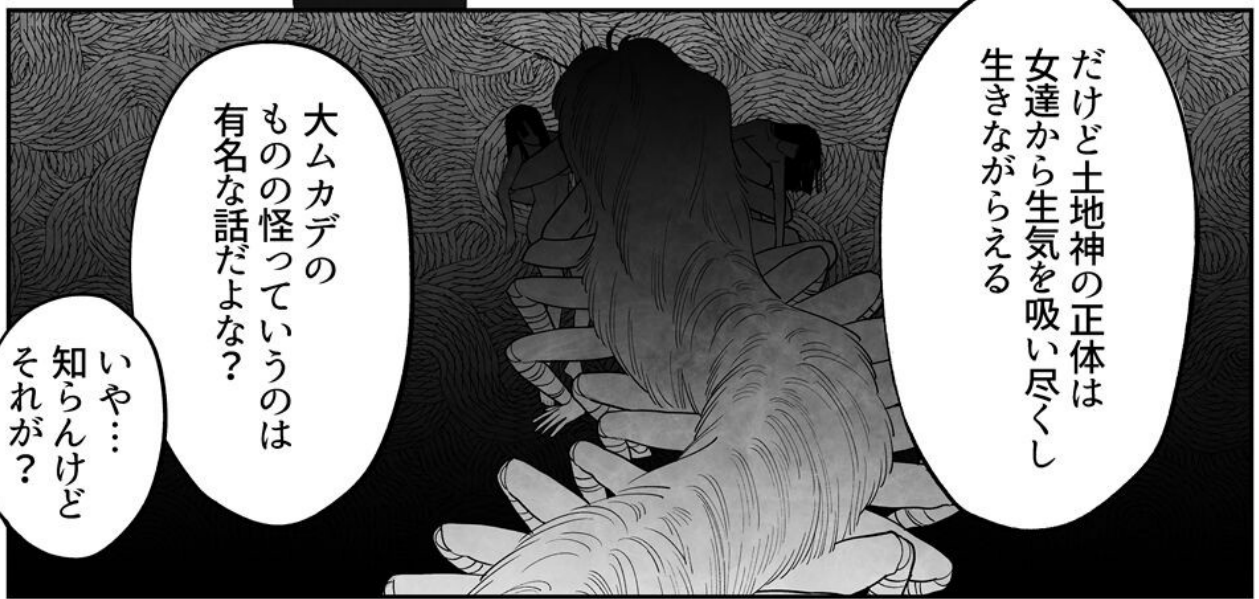
大変だ!  
俺見ちまったんだ!



…何やってんだ  
俺は…  
はあ…



この土地には  
繁栄を願って  
土地神に娘を嫁に捧げる  
風習があるんだ



だけど土地神の正体は  
女達から生気を吸い尽くし  
生きながらえる

大ムカデの  
ものの怪っていうのは  
有名な話だよな？

いや…  
知らんけど  
それが？



なんと  
その土地神が

この村の  
領主だったんだよ！

ええ！  
うそだろ

まじなんだって！  
俺見たんだよ！



領主が嫁である  
盲目の女から

生気を  
吸い取ってる姿を！



おい  
カラス

カア？

その話  
詳しく聞かせる

ザカズ...



屋敷には  
来るなと言ったのに



コソソ

わかってる…

そんなこと随分前から  
皆わかってるんだよ…



奴は  
ものの怪だぞ！



だったら何で!?  
奴の言いなりになる  
必要はない…!!

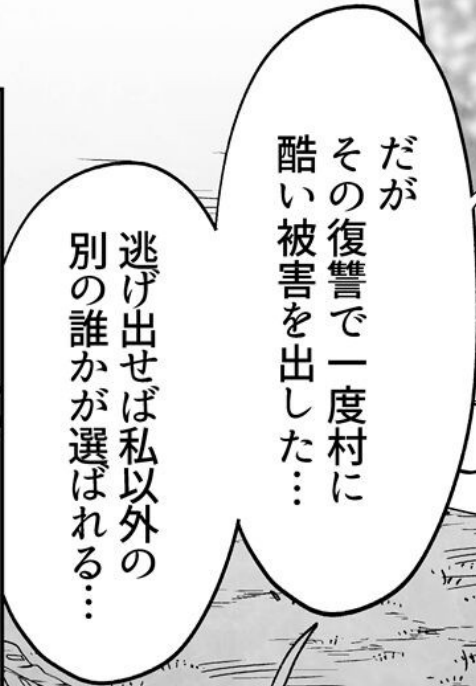
お前が出来ないなら  
俺が殺してやろう！

やめてくれ



何もしないことが一番平和なんだよ…

じゅ…



私も初めは抵抗したさ

だがその復讐で一度村に酷い被害を出した…

逃げ出せば私以外の別の誰かが選ばれる…

フワ…  
フワ…



ぐわ

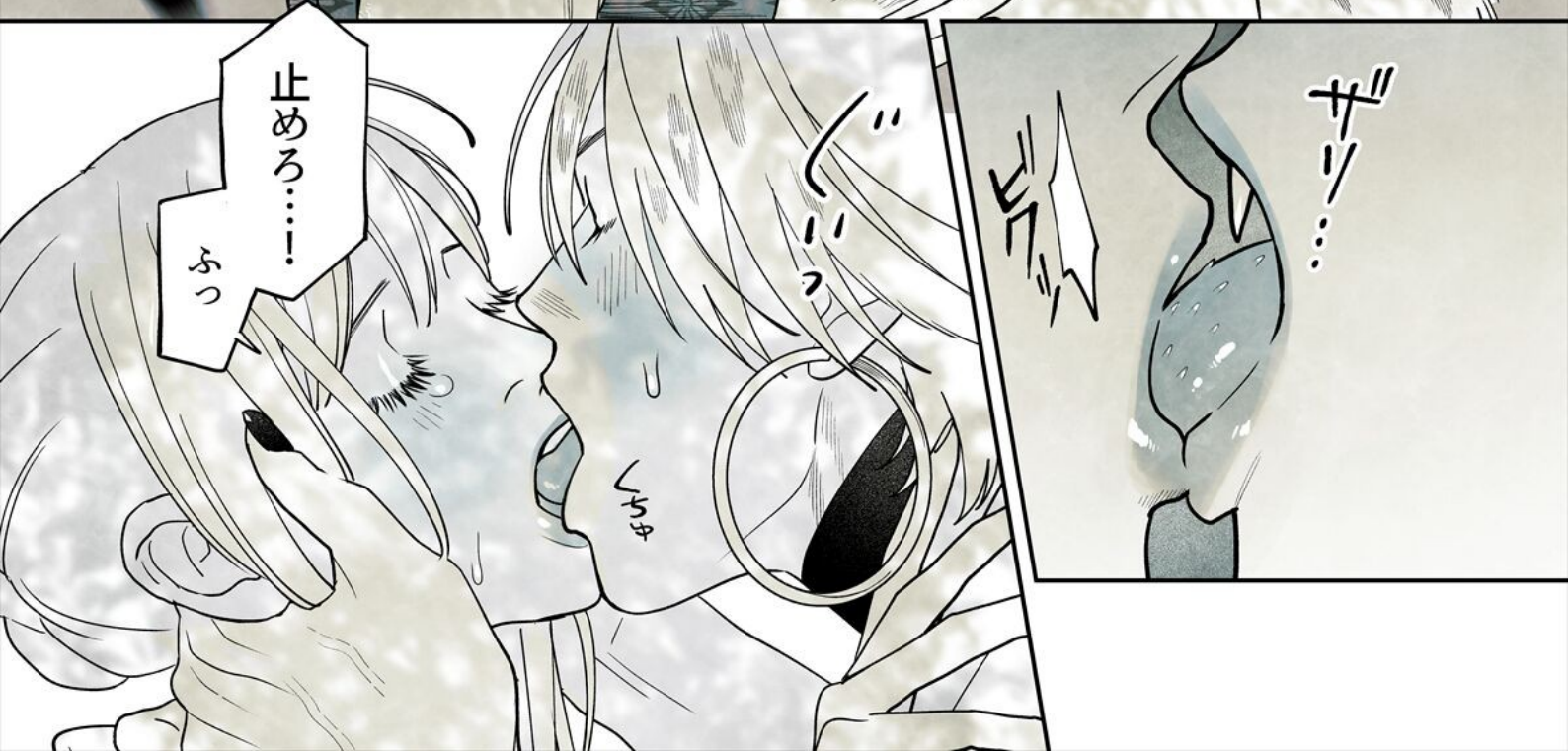


今なら  
頃合いだぞ…



もう力も弱まって使えない…

お前私の命を  
欲しがっていたな…





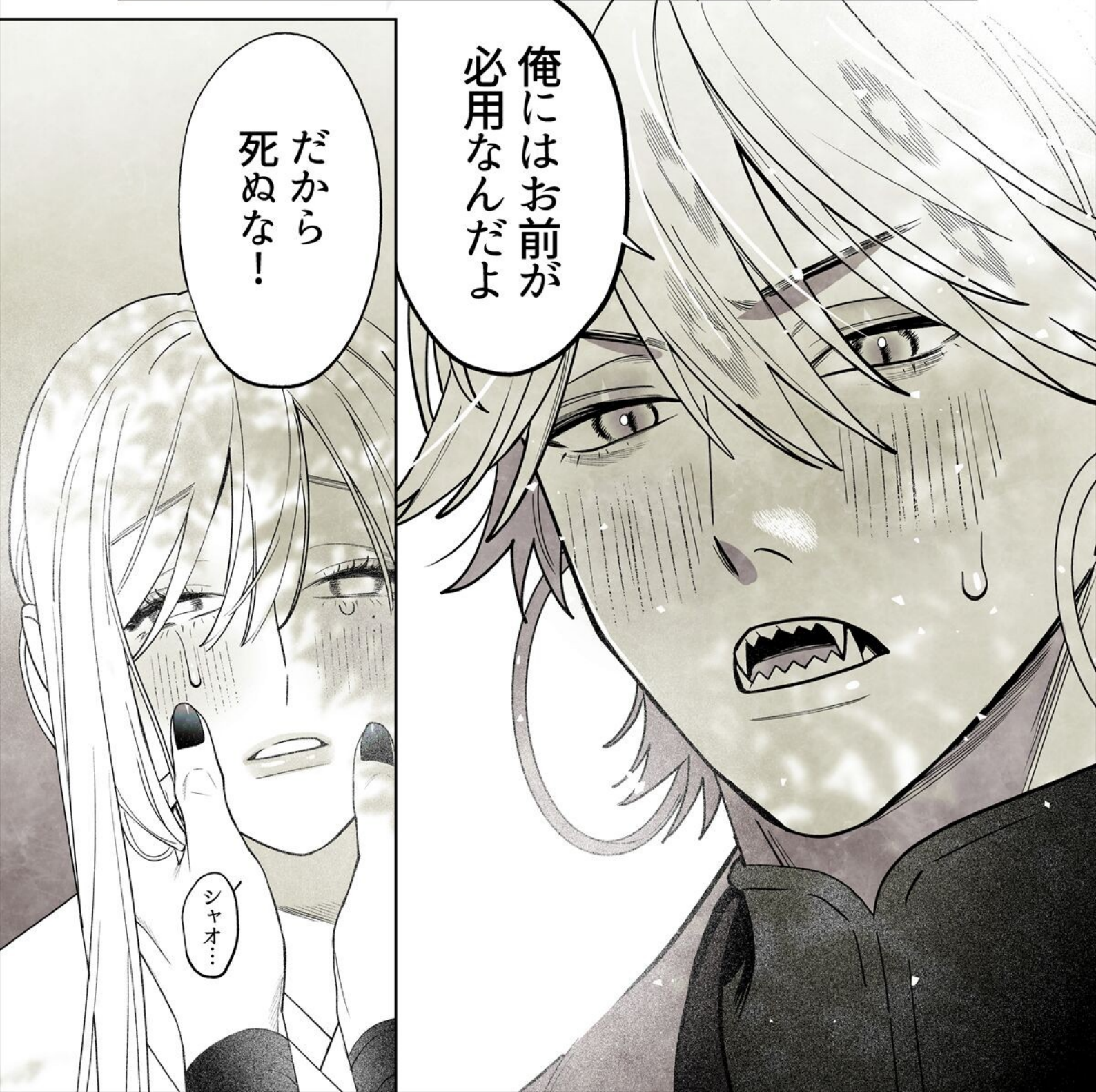
私のことは忘れてくれ

ぐ…

私は一人でも  
大丈夫

ダメだ

お前が平気でも



俺にはお前が  
必用なんだよ

だから  
死ぬな！

シャオ…





雪乃はワシの上質な生気袋  
骨の髄まで吸い尽くすまでは  
手放すわけにはいかぬ

雪乃  
後で仕置きじや...

また子を孕ませて  
やろう

...

クク

あ...

ポッ

ポッ



力づくで  
引き剥がしてみろ  
小僧!

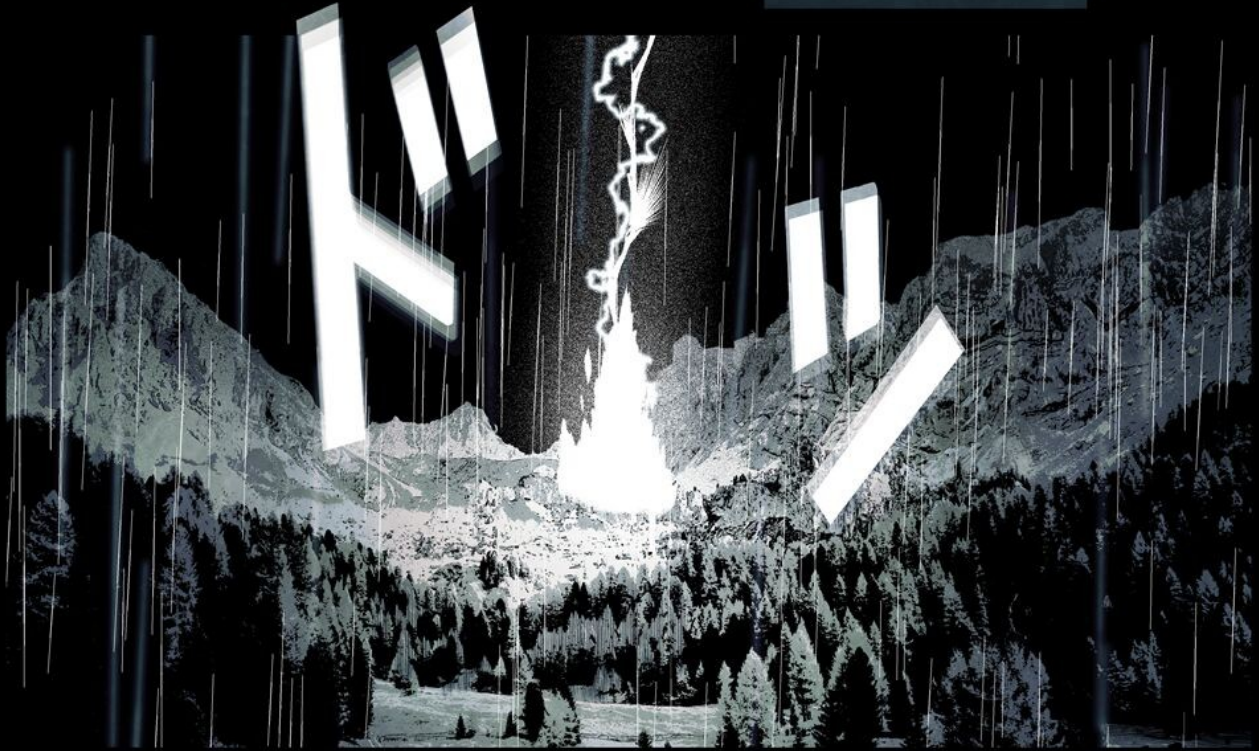
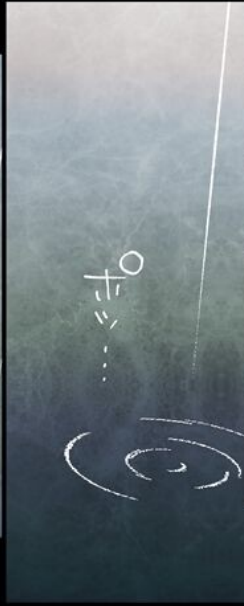


その汚ねえ手を  
はなせ...


ハキッ




その腕全部  
もぎ取ってやるー！



生まれてからずっと



私は不思議な力のせいで  
周りから特別扱いされてきた




土地神の妻として  
選ばれた時も

名誉なことだと  
両親は喜んでた



期待に応えなければ

なぜなら私は特別な  
力を持つて  
しまったから



だから嫌だとか  
助けてなんて  
誰にも言えなかった

このままずっと

ずっと…



ぐう

うっ  
んっ

がっ

ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

っ!!

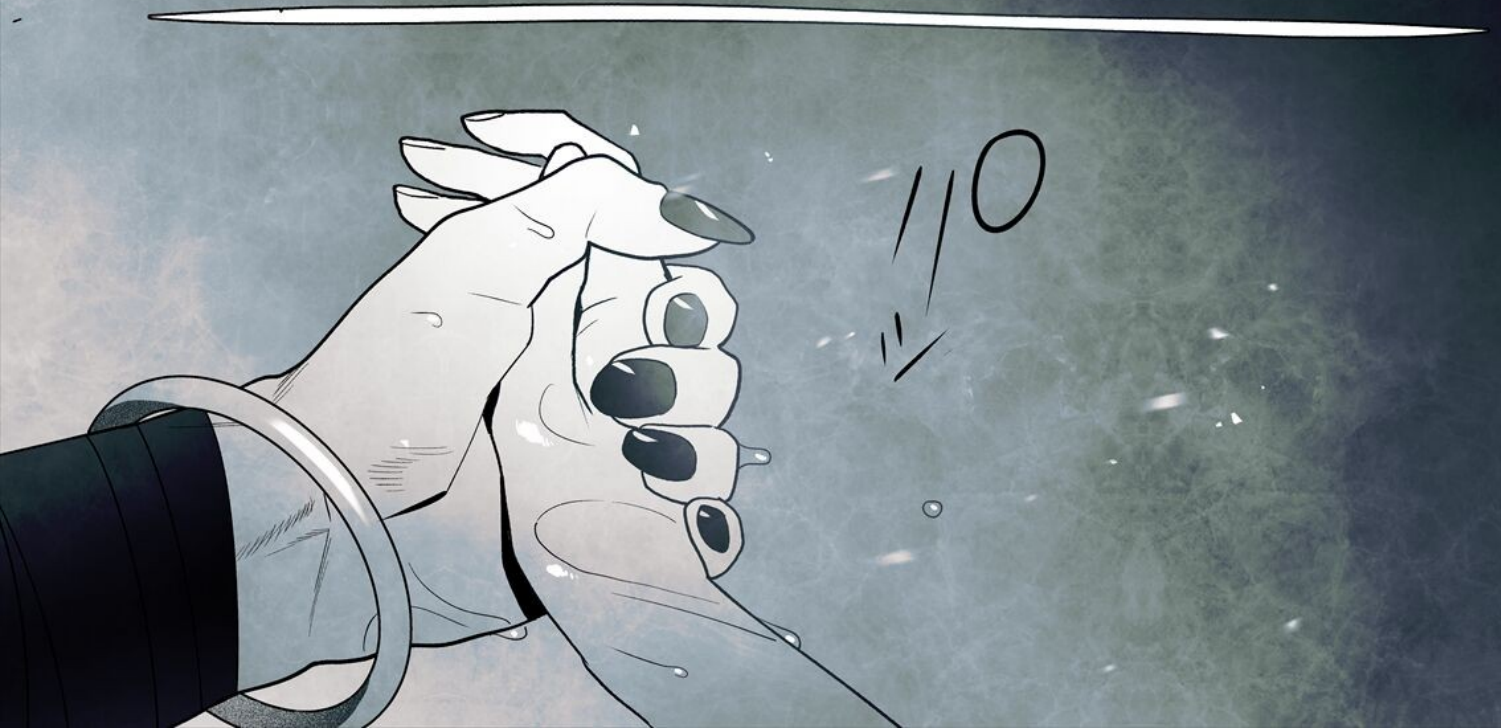
ヒュッ  
ヒュッ  
ヒュッ

死ぬまで搾取され  
続けるんだと思ってた

# 川 ア ア ア ア ア

あなたに会うまでは…

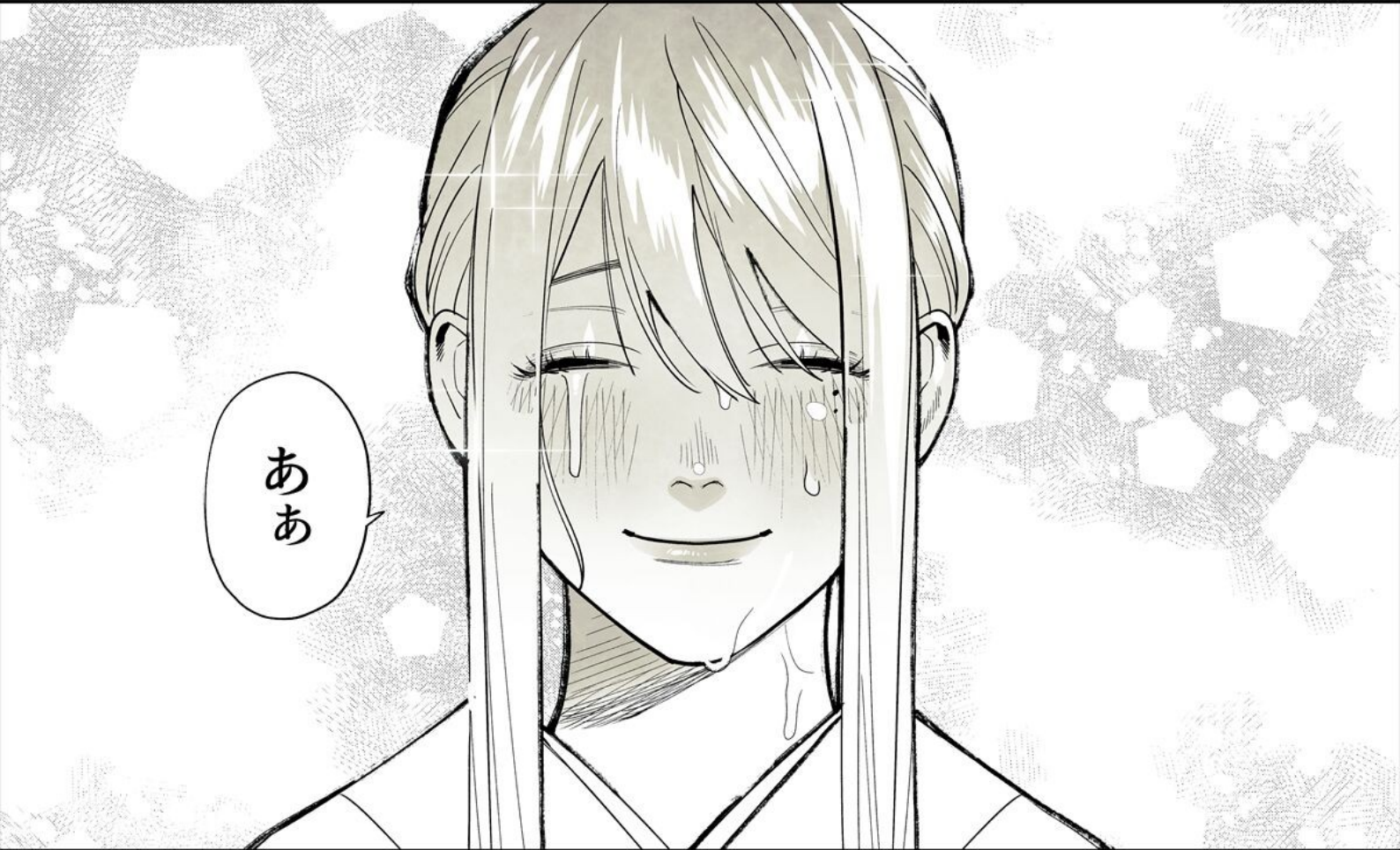




雪乃

俺の伴侶に  
なつてくれ





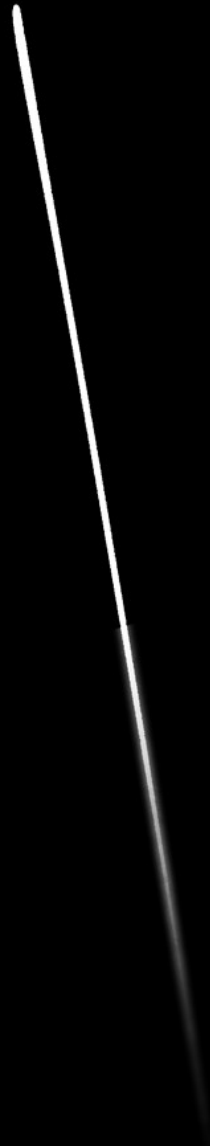
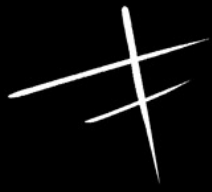
ああ



シャオ!



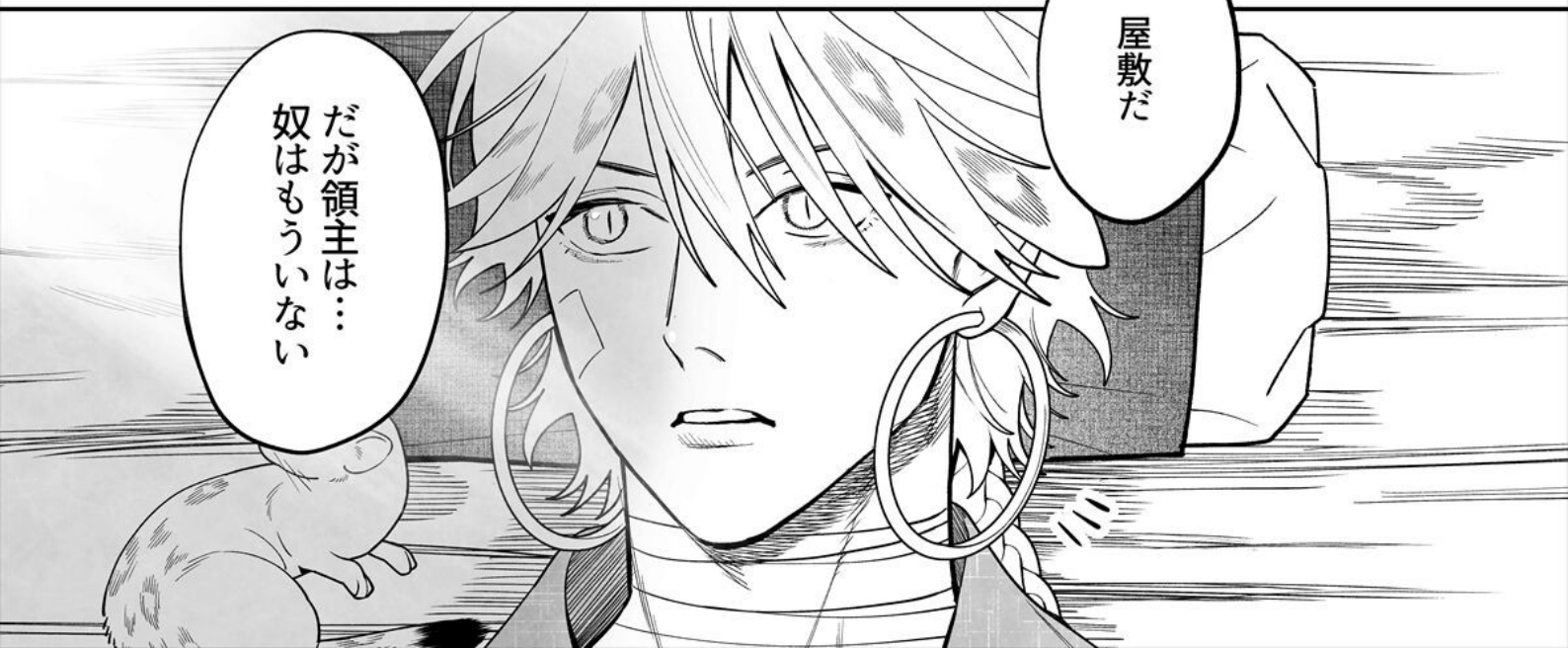
フニフニ...





こゝは…

…どこだ



だが領主は…  
奴はもういない

屋敷だ





!

ちゅ

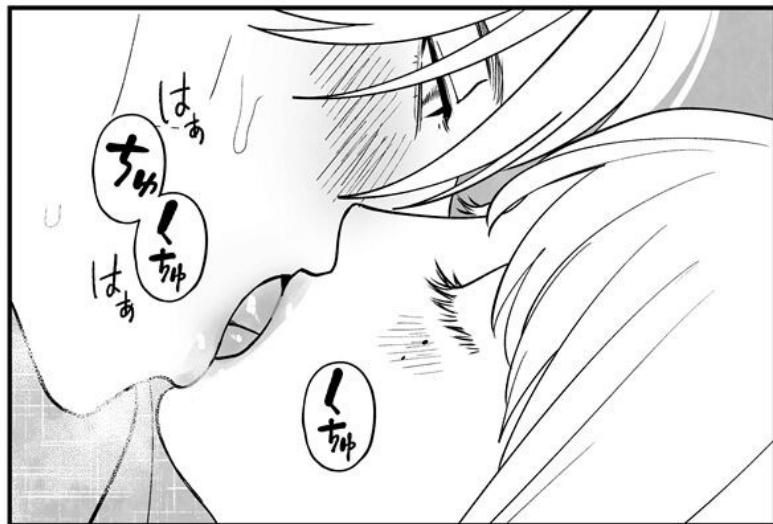


これを  
したがっていたろ？

...

ちゅ







今から  
そんな女を

抱く





はあ…  
はあ…

雪みたいに  
真っ白で綺麗な  
肌なのに…

暖かい…

んっ  
こそばい



ザザザザ



目の前一杯の  
雪乃の優しい匂い…

ふふっ

ずゅ

ずゅ



ずゅ

んっ

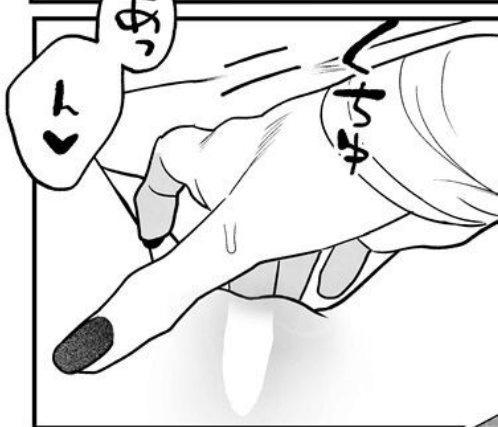
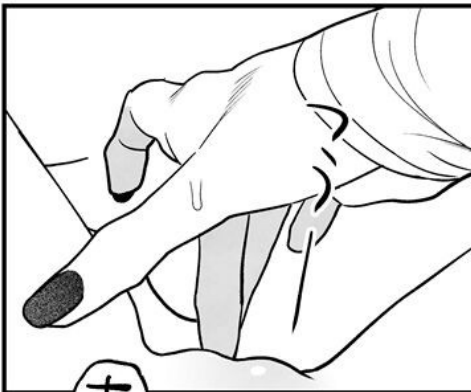


笑うなってん  
だろ

ゴロゴロ

ザリ  
ザリ

たが  
たが





くちゅ  
くちゅ  
くちゅ  
あぁ  
あぁ  
あぁ

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ  
あぁっ...  
はぁ...はぁ...

雪乃の  
ぬるぬるな...

内臓...

あぁ...  
あぁ...  
あぁ...

んっ!

びびびび





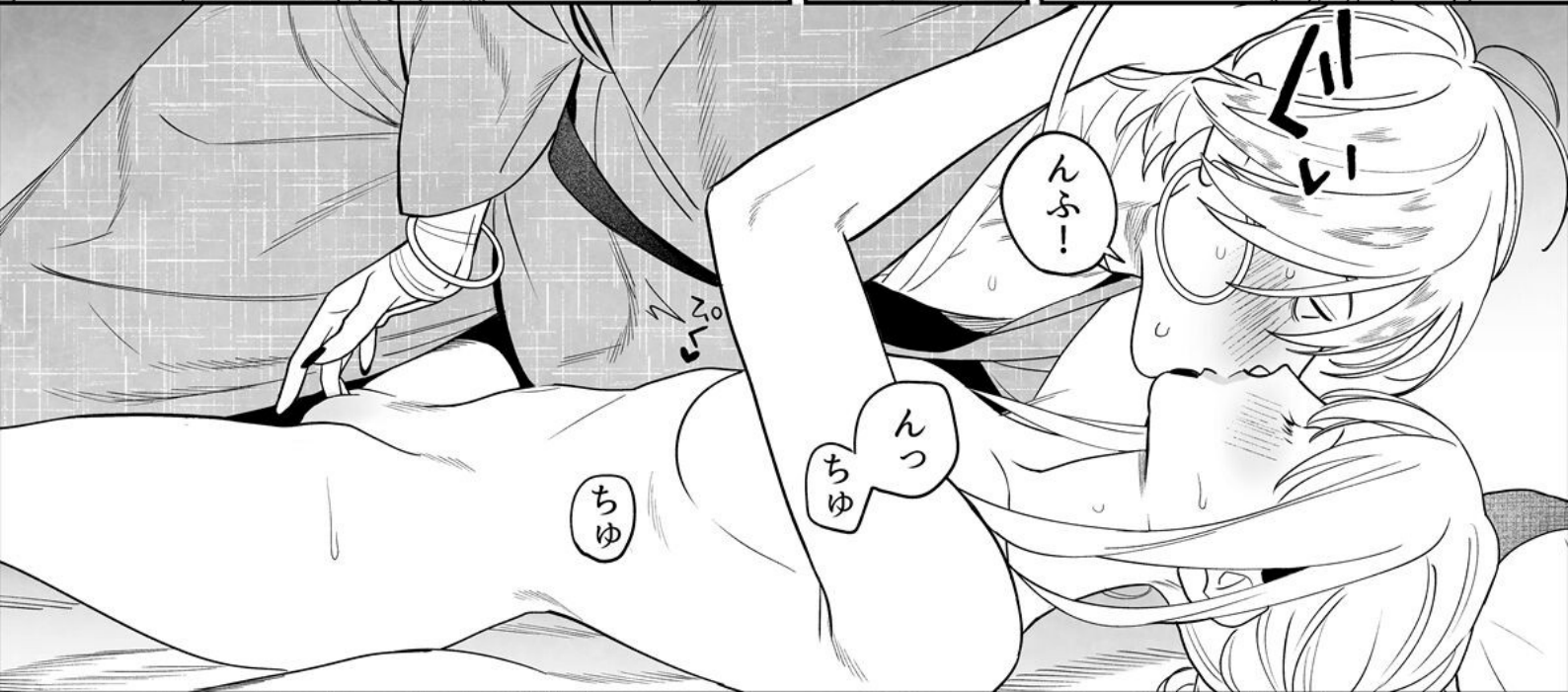
雪乃…  
そろそろ  
いいか…?

はっ…

雪乃の甘い声に  
股が反応する…

ひく…  
ひく…

はあ…  
はあ



んふ!

んっ  
ちゅ

ちゅ



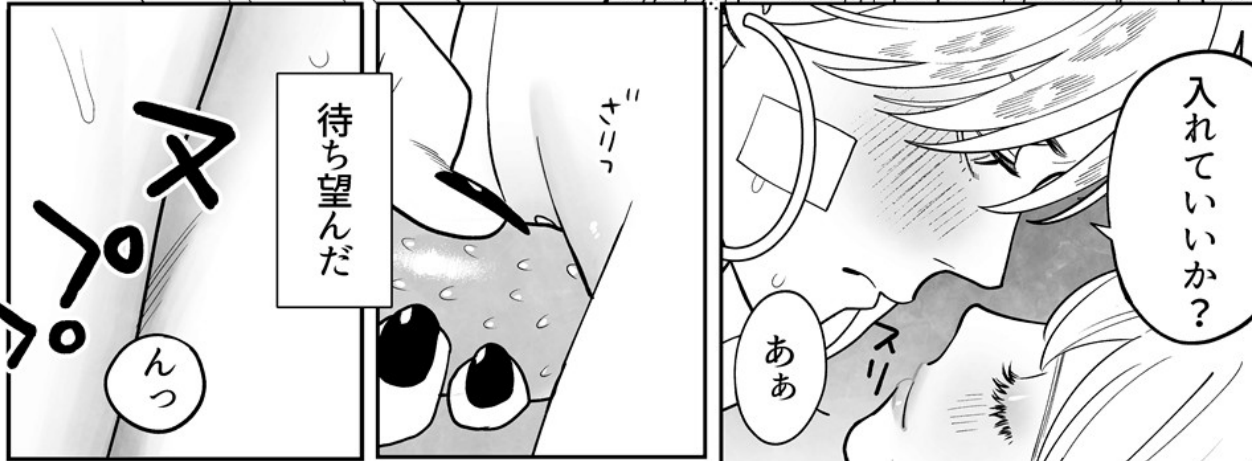
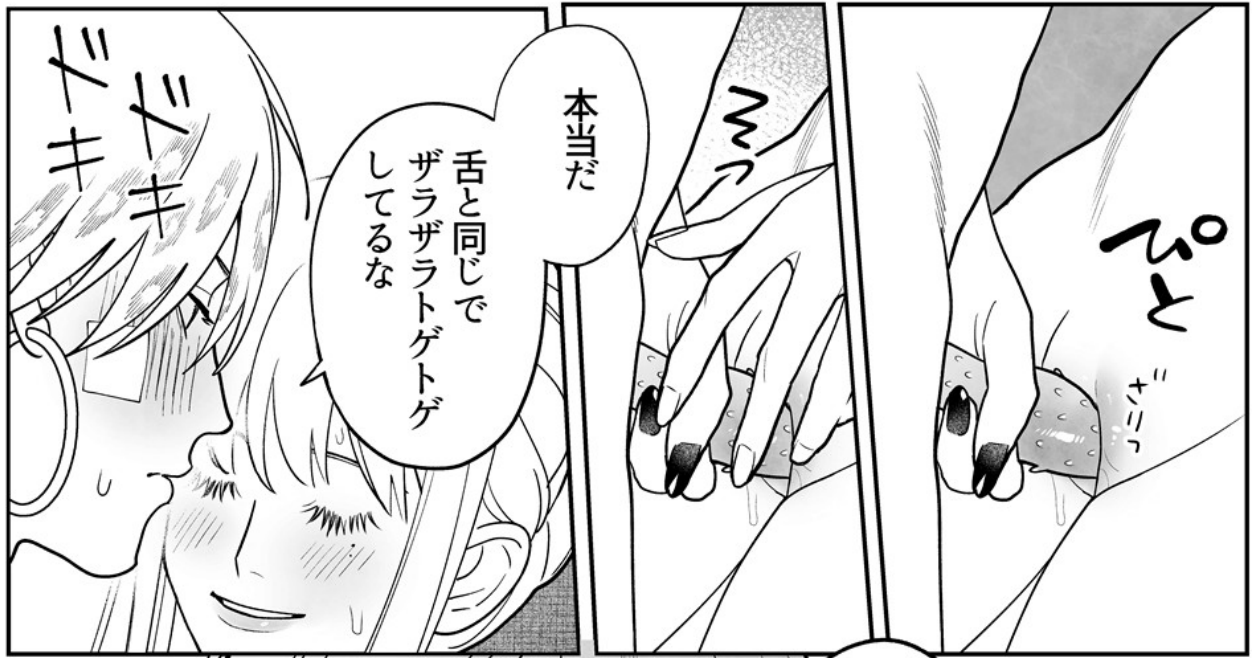
ああ…早く  
入れてくれ

はあ  
はあ

はあ

!





グキグキ

本当だ

舌と同じで  
ザラザラトゲトゲ  
してるな

ズッ

ズッ

ん

でも  
柔らかいし

痛くなさそうだ

ん

ん

待ち望んだ

ん

ん

入れているか?

ああ





はっ

はっ

そんな  
いきなりっ…

あ

あ

これが本物の  
雪乃の中っ…

ぐう…

あ  
はあ……  
深いっ…

はっ









この女の中に  
出したい...!

そっ  
そんなに...  
んっ!  
がつつくな

はあ  
はあ

はあ  
はあ  
はあ

私は  
逃げたり...っ  
しないっ!  
んっ



雪乃...もう  
出そうだ...  
はあ

中に出したい  
はあ

出して  
いいか?

はあ  
はあ  
はあ

はあ  
はあ

ああ...  
来てくれ  
はあ

はあ  
はあ





無理だ  
待てない

またどんどん  
上がってくる

待てっ  
あっ

少し  
休んでからっ

トン  
トン

ハチ

ハチ

ハチ

ハチ

ニヤッ

ニヤッ

ニヤッ

あっ  
んっ



ハチ

ハチ

ハチ

フッフ

急に  
どうした?



ハチ

ハチ

雪乃  
好きだ

好き



ハチ

スリ...

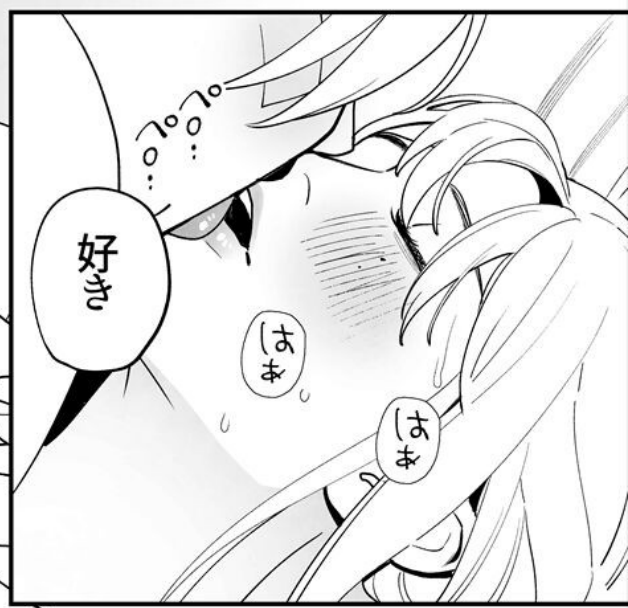
ハチ

はあ  
あっ



愛してる♡

雪乃...



好き

はあ

はあ



私もだ

んっ

は…

は…

元気だな

んっ  
まだ出来るのか…

あっ

ホッ

ホッ

んっ

若いな…

ガ  
ン

ハ  
ッ

ハ  
ッ

ハ  
ッ

ハ  
ッ

ホッ…

ホッ…

…

余裕そうだな

はぁ

はぁ

はぁ







カッパッ

!

ヒューヒュー



いきなり  
締め付けがきつく…!



動けな…!

チヤチヤ

ズル



ズル

ヒューヒュー

ヒューヒュー



出…!



やば…♡

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ





…♡…♡…♡



はあ…  
はあ…  
はあ…

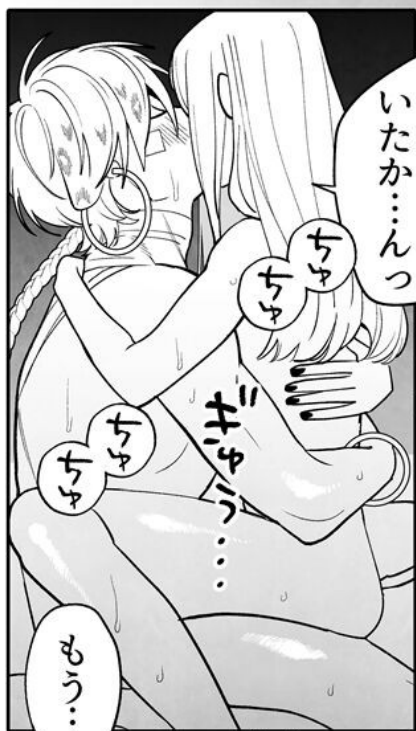
少しは  
手加減しろ…

病み上がりのくせに  
なんて体力だ



良すぎて死ぬ…

はーっ  
はーっ



おい  
話を聞いて  
いたか…んっ

ちゃ  
ちゃ  
ちゃ  
ちゃ  
ちゃ  
ちゃ

もじ…



クッ  
クッ

ん

ガッ



俺の魔羅は  
気持ちいいか？

あんっ！

はあ

はあ

もっと  
ぐちよぐちよに  
かき回して  
気持ち良く  
してやる

ほちっ

ほちっ



雪乃

あっ  
あっ

あっ  
あっ  
あっ

しゃオ



んっ

あっあっ  
出るっ！

すごい雪乃っ  
びしゃびしゃだ

気持ちいいか？

あっあっあっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ





あ、あ

抱き合うほどに  
思いがどんどん強くなり



あ、あ

キッ

キッ

アッ

あ、あ



んっ  
あ、んっ...

理性のない獣に  
近づく気がする

んっ  
あ、んっ...

んっ  
あ、んっ...

んっ  
あ、んっ...

あ、んっ...

んっ  
あ、んっ...

あ、んっ...

んっ  
あ、んっ...

あ、んっ...

あ、んっ...

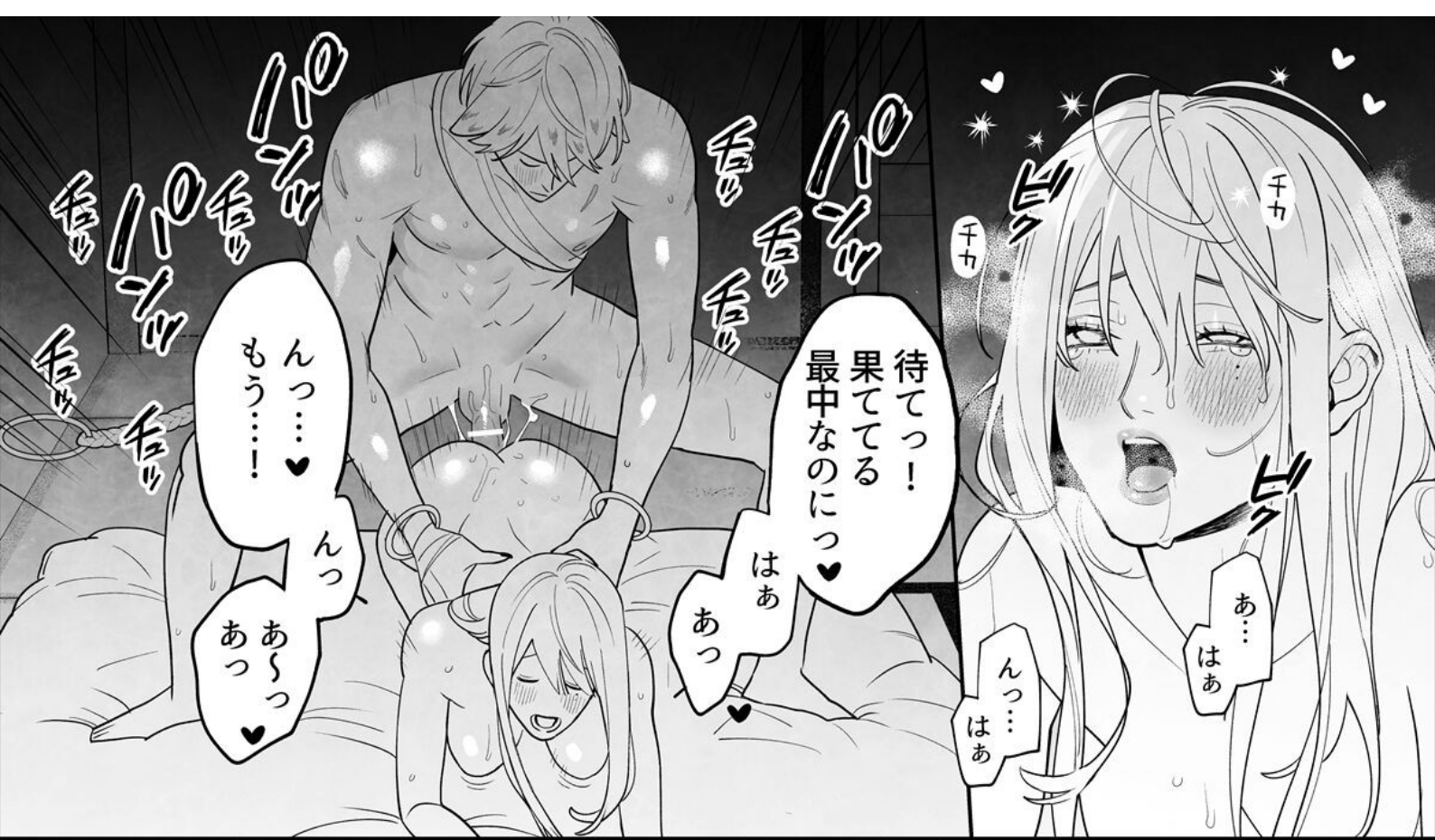
んっ  
あ、んっ...

あ、んっ...

あ、んっ...

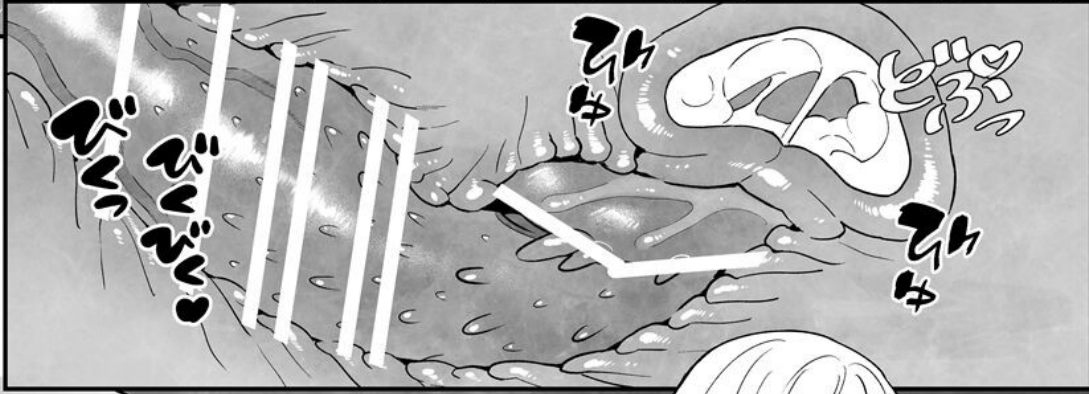
あ、んっ...







こんなにも誰かを  
愛したことがなくて  
押さえがきかない…



嫌だ…



ん…  
まだ中で  
どくどく  
してるぞ…  
本当に  
元氣な奴だ…

はあ  
はあ

んんん〜  
♡



獣になりたく  
ないのに…

疲れて…  
変化が解けた

クタクタな  
わけだ

はあ

はあ

シャオ姿が？

ひたひた…

ひたひた…



もう  
終わりなのか？

スリ  
スリ  
ゴム  
ゴム

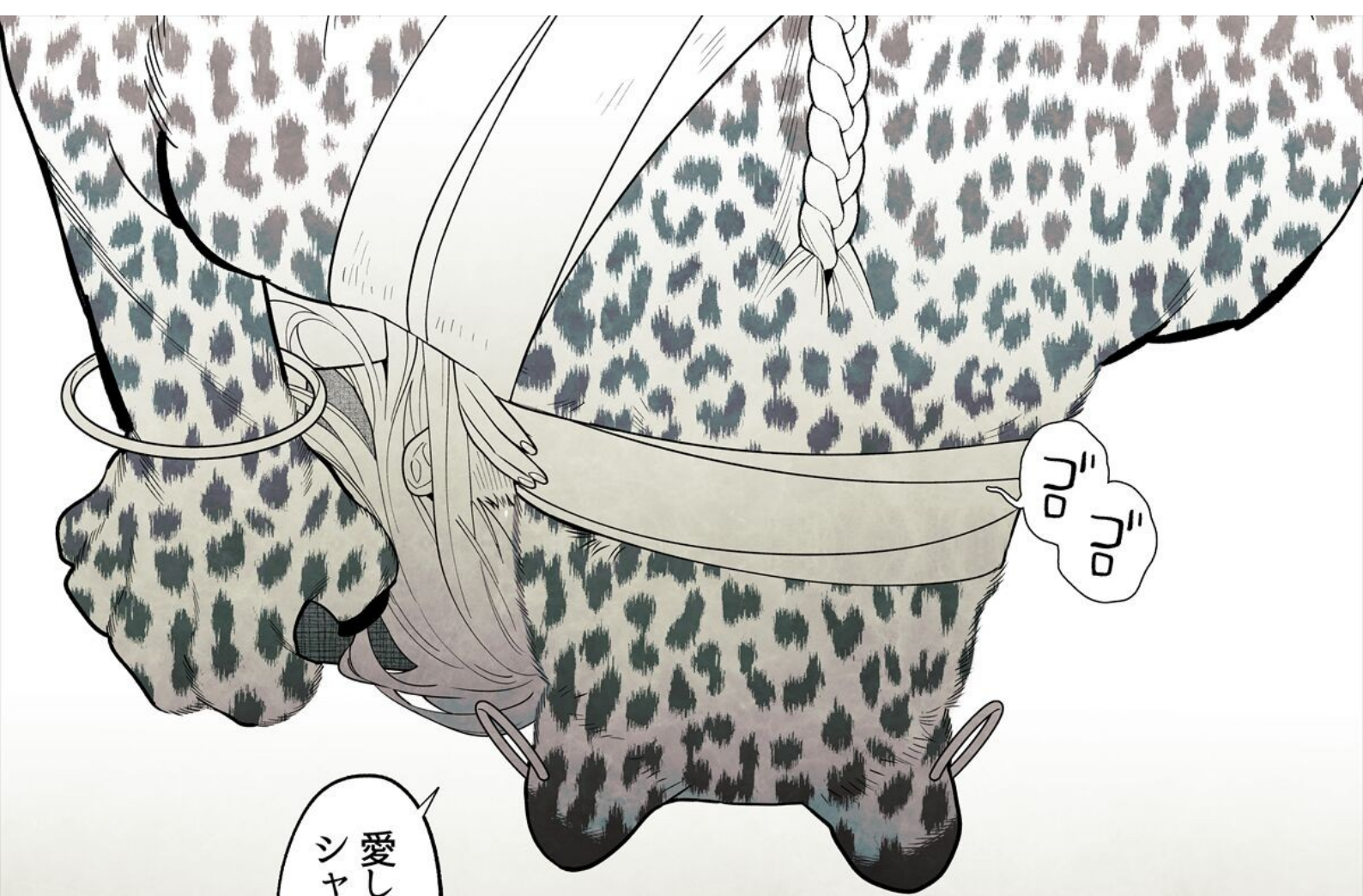
ふふっ

はあ

はあ

はあ



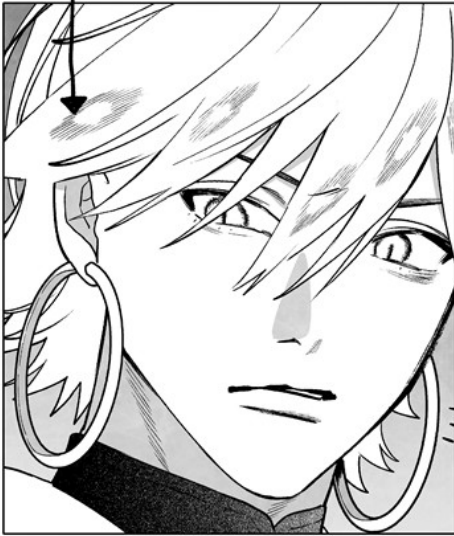


愛してるよ  
シャオ

お前は俺を獣にも  
人間にもたらしめる

# キャラ紹介

これは耳ではなく髪型



シャオ(19~25歳)

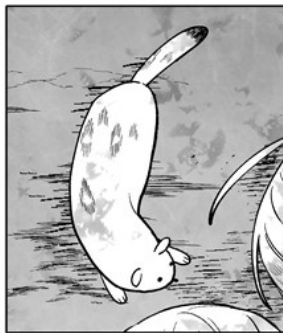
大陸から来たものの怪  
正体は豹の「雷獣」

過去色々あって人間に恨みがあり  
雪乃に出会う前は人里を襲っていた



雪乃(30代)

不思議な力を持った人間  
土地神の捧げものとして  
土地神である領主の嫁となる  
過去に土地神の子を出産した  
経験がある



シャオの子分  
シャオの毛玉から  
生まれたものの怪  
貂【テン】のような姿を  
している



化け狐の遊女  
人の頭の中を覗き  
幻影を見せて  
油断した際に相手の  
生気を頂く

仲間には狸や猫がいる



領主  
正体は土地神と  
いい伝えられてきた  
大ムカデのものの怪

シャオと雪乃の動向は  
ムカデの目を通して  
領主に監視されていた



噂好きのカラス



こんな季節に雷だ  
お前の仕業じゃないなら雷でも振りそうだな

ほち

み

ぽぽぽ  
ぽぽぽ



これでは今日は動けそうにないな...ふふっ



雪乃

昨日ので体が痛い

ぐっ！



このまま二度寝でもするか？

フィル

おわり

ぽぽぽ

## あとがき

どうも初めましての方は初めまして異種姦好きの人面シジミと申します!  
少しですが虫姦と獣姦という人を選ぶ要素があるのに  
最後まで読んでくださりありがとうございました…!  
いつもはストーリー部分カットして全ページエロシーンという構成に  
してますが今回は時間あるしストーリー描くか…と思い描きだしたら  
100ページ近くにもなっちゃったし、結果エロがおまけみたいになっちゃいました笑  
エロ漫画って難しいや!

皆さん猫科のペニスと舌がトゲトゲザラザラなのは知ってましたか?  
猫科のペニスにトゲがあるのは痛みによる刺激で排卵をおこし  
メスを確実に妊娠せるためらしいです。  
舌がザラザラなのは毛繕いと獲物の肉を削ぎ落とすためのものらしいです…汗  
猫科の特徴は攻撃性高くてエロには向かないなとは思っていたのですが  
柔らかいトゲ設定にして描いちゃいました!

少しでも楽しんで読んでいただけたなら幸いです!  
それではまた次回作でお会いしましょう!

### ※お願い

- ・無断転載&無断翻訳禁止です。
- ・コメントには人面シジミ以外の名前は出さないように  
よろしくお願いいたします。

作者:人面シジミ  
タイトルロゴ:筆耕 墨れ 様